洋野町内試掘調査報告書

風力発電事業に伴う埋蔵文化財確認試掘調査 (2019年度調査)

2021.3

岩手県洋野町教育委員会

洋野町内試掘調査報告書

風力発電事業に伴う埋蔵文化財確認試掘調査 (2019年度調査)

例 言

- 1. 本報告書は、岩手県九戸郡洋野町内において実施される風力発電事業に伴う事前の埋蔵文化財確認試掘調査結果を収録したものである。
- 2. 試掘調査に係る費用は事業主にご負担いただいた。事業主は次の通りである。 日本風力開発株式会社
- 3. 試掘調査は、洋野町教育委員会が主体として実施したもので、株式会社アーキジオが調査支援業務を行った。調査責任者: 千田政博(洋野町教育委員会)

調査員:田中寿明 調査補助員:村上佳、山田千種(株式会社アーキジオ)

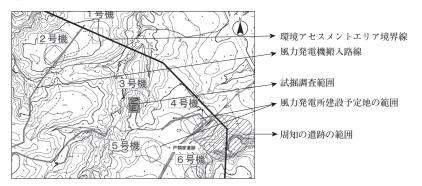
- 4. 本書の編集・構成は田中が行い、執筆については第I・III・V章を千田、第II・IV・V章を田中が担当した。
- 5. 第Ⅲ章「洋野町内の遺跡」については、令和 2 年 (2020) 4 月時点での「岩手県遺跡台帳」に基づくものである。
- 6. 試掘調査及び報告書作成等に際して、下記の方々からご指導、ご助言を賜った。記して感謝申し上げます。 (五十音順、敬称略)

相原淳一、斎野裕彦、福田友之、藤沼邦彦、松山力

- 7. 試掘調査作業において、下記の方々にご協力をいただいた。(五十音順、敬称略) 安藤セツ、岩谷タミ、川戸ちせ、黒坂吉藏、舘野カツヱ、舘野孝子、舘野隆、塚野忠男、長根山一、 畑中ヨシヱ、有限会社薩摩建設
- 8. 報告書作成に際して、下記の方々にご協力をいただいた。(五十音順、敬称略) 今野かおる、續石貴子、松浦冨子、村田千鶴、横山香
- 9. 基準点の測量は、株式会社北山測量設計に委託した。
- 10. 調査で得られた出土遺物・諸記録等については、洋野町教育委員会で保管・管理している。
- 11. 引用・参考文献は文末に収めた。

凡例

- 1. 第1図・第10図は、国土地理院発行の50,000分の1の地形図を複写して使用した。
- 2. 第2図は、50,000分の1の洋野町管内図を複写して使用した。
- 3. 第IV章の調査結果に掲載した地形図は、国土地理院発行の25,000分の1の地形図を複製・加筆・修正して使用した。

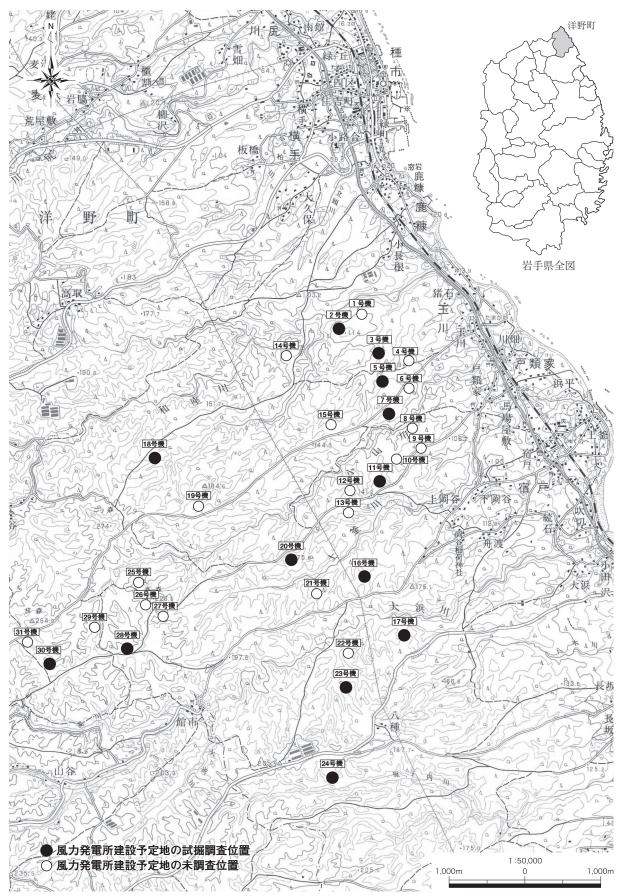


目 次

例言	
凡例	
Ⅰ.試掘調査に至る経過	2
	2
Ⅲ.洋野町内の遺跡	3
Ⅳ. 試掘調査結果	
≪第1次試堀調査≫	
風力発電第3号機	
風力発電第7号機	
風力発電第 11 号機	
風力発電第 16 号機	
風力発電第 17 号機	
≪第2次試堀調査≫	
風力発電第 18 号機	
風力発電第 20 号機	······25
風力発電第 23 号機	
風力発電第 28 号機	24
風力発電第 30 号機	······24
≪第3次試掘調査≫	
風力発電第2号機	
風力発電第5号機	
風力発電第 24 号機	
V . 試掘調査のまとめ	3/-
報告書抄録	
主	冒次
X	
第1表 町内の遺跡一覧 (1)10	第1表 町内の遺跡一覧 (7)16
第1表 町内の遺跡一覧 (2)11	第1表 町内の遺跡一覧 (8)17
第1表 町内の遺跡一覧 (3)12	第1表 町内の遺跡一覧 (9)
第1表 町内の遺跡一覧 (4)	第 2 表 試掘調査結果一覧······· 35
第1表 町内の遺跡一覧 (5)	第 3 表 出土遺物観察表 (土器) · · · · · · · · · 41
第1表 町内の遺跡一覧 (6)	第4表 出土遺物観察表 (石器)41
N・1 (A 「1 1 1 7 / / / / / / / / / / / / / / / /	水工外 四工度物與东外 (有冊) 1

図版目次

第 1 図 第 2 図 第 3 図 第 4 図	試掘調査位置図 1 町内遺跡分布図 9 深掘土層序 27 深掘土層序 28	第7図 深掘土層序 31 第8図 深掘土層序 32 第9図 深掘土層序 33 第10図 新規発見の遺跡位置図 36
71	深掘土層序 29	
第5図		第 11 図 出土遺物37
第 6 図	深掘土層序 30	
	写真図	
写真図版		写真図版 10 第 3 次調査地全景47
写真図版	2 出土遺物38	写真図版 11 第 3 次調査地全景48
写真図版	3 出土遺物39	写真図版 12 第 1 次試掘調査49
写真図版	4 出土遺物40	写真図版 13 第 1 次試掘調査50
写真図版	5 第1次調査地全景42	写真図版 14 第 1 次試掘調査51
写真図版	6 第1次調査地全景43	写真図版 15 第 1 次試掘調査52
写真図版	7 第1次・第2次調査地全景44	写真図版 16 第1次・第2次試掘調査53
写真図版	8 第 2 次調査地全景45	写真図版 17 第 2 次試掘調査54
• > (



第1図 試掘調査位置図

Ⅰ. 試掘調査に至る経過

試掘調査は、日本風力開発株式会社による風力発電事業に伴い実施されたものである。事業計画では洋野町内の31箇所に風車を建設するもので、平成30年9月6日、事業者から洋野町教育委員会教育長あてに事業地の埋蔵文化財包蔵地の所在について照会があり、事業地内の掘削面積や建設数を踏まえ、分布調査が必要であるとの回答をした。その後同年10月5日、分布調査の依頼書が提出され、事業地を確認したところ、地形等の状況から全ての建設予定地について埋蔵文化財確認試掘調査が必要であるとの回答をした。

平成 31 年 3 月 29 日、事業者より風車建設予定地の風車番号 3 号機、7 号機、11 号機、16 号機、17 号機の5 基分を第 1 次試掘調査として、試掘調査依頼書が洋野町教育委員会教育長あてに提出され、平成 31 年 4 月 22 日~令和元年 6 月 18 日まで、各風車建設工事個所の7,000㎡を対象に試掘調査を実施した。その後令和元年 7 月 18 日、第 2 次試掘調査として風車番号 18 号機、20 号機、23 号機、28 号機、30 号機の5 基分の試掘調査依頼書が提出され、令和元年 7 月 26 日~8 月 23 日まで試掘調査を実施した。調査の結果、3 号機、7 号機、11 号機、16 号機、18 号機、23 号機の風車建設予定地から遺構、遺物が検出された。

その後令和元年 10 月 25 日、第 3 次試掘調査として風車番号 2 号機、5 号機、24 号機の 3 基分の試掘調査依頼書が提出され、令和元年 11 月 14 日~ 11 月 29 日まで試掘調査を実施した。調査の結果、2 号機、5 号機、24 号機の建設予定地いずれからも遺構が検出された。

Ⅱ.試掘調査の概要

今回の試掘調査は、31 箇所の建設計画地の内、13 箇所について実施した。1 箇所あたりの調査対象面積が7,000㎡(100 m×70 m)で、調査地内に幅 1.5m、長さ50 mのトレンチ(試掘溝)を6 箇所設定することを基本とした。トレンチは重機により表土掘削後、鋤簾等を用いて人力により遺構の確認を行った。また、トレンチ内の壁についても、樹木根及び草根を除去し、縦鋤簾や両刃鎌等を用いて壁面での遺構の確認にも努めた。

トレンチは地形等を考慮しながら任意により設定したもので、掘削は遺構確認面の地山(八戸火山灰層上位面相当)までとした。また、調査の状況に応じて範囲の拡張やサブトレンチを設けた。遺構、或いは樹木痕等の撹乱痕跡かの判断が困難な場合は、テストトレンチを設定して確認を行った。

遺構確認作業と並行して検出された遺構プラン等を作図した。また、各調査地内には土層序観察のための深掘りを行い、堆積状況を観察し、各土層の注記をした。記録写真は35mmデジタル一眼レフカメラを用いて撮影し、調査終了後は無人航空機(ドローン)による空中撮影を行った。

Ⅲ. 洋野町内の遺跡

洋野町内に所在する遺跡は、令和2年(2020)4月現在、岩手県遺跡台帳に232遺跡が登録されている。平成23年(2011)以降、三陸沿岸道路建設や再生可能エネルギー事業等に係る試掘調査により新規発見の遺跡が増加している。

町内遺跡詳細分布調査は、旧種市町が行った平成16年度(2004)の角の浜・伝吉・平内・麦沢(姥沢)地区の分布調査のみである。旧大野村分についても実施しておらず、町内には未発見の遺跡が多く所在するものと想定される。町内の発掘調査は岩手大学草間俊一氏により昭和30年(1955)から昭和36年(1961)にかけて遺跡の踏査と発掘調査が行われたのが最初であるが、その後平成25年度(2013)までの調査事例は数件にとどまっていた。 平成26年度(2014)以降、三陸沿岸道路建設等に伴う本発掘調査により調査事例が急激に増加したものの、町内に所在する遺跡の様相については不明な部分が多い。

旧石器時代の遺跡として、中野地区の尺沢遺跡(222)が登録されている。同遺跡は令和元年度(2019)、久慈地区汚泥再生処理センター建設工事に係る洋野町教育委員会による発掘調査で、ナイフ形石器が出土している。その他にも「角川日本地名大辞典3」には、"鉄山遺跡、"有家遺跡、と未登録遺跡の記載があり、いずれも高館火山灰層最上部から旧石器が発見されたとある。今後の埋蔵文化財調査において、高館火山灰層については注視していかなければならない。

縄文時代の遺跡数は、全体の7割以上を占める。草創期の遺跡として板橋Ⅱ遺跡(221)がある。同遺跡は三陸沿岸道路建設事業に伴い、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(以下岩手県埋蔵文化財センターに略称する)による令和元年度の調査において、爪形文土器が出土している。爪形文がV字状に並ぶことから、八戸市黄檗遺跡で出土した爪形文土器に近いものとみられる。

早期の遺跡として、ゴッソー遺跡 (20)、大宮 I 遺跡 (47)、大宮 I 遺跡 (48)、宿戸遺跡 (199)、中野城内遺跡 (203)、尺沢遺跡 (222) などがある。旧石器が出土した尺沢遺跡では、日計式の押型文土器が出土し、同時期とみられる石器も出土している。また、岩手県埋蔵文化財センターによる平成6年度 (1994) のゴッソー遺跡発掘調査では日計式土器、魚骨回転文土器等が出土している。

貝殻文の土器が出土した事例は古く、昭和36年の草間氏による大宮遺跡の発掘調査時に出土したものが、岩手県で初めて復元された貝殻文の尖底土器と報告がある。中野城内遺跡では、三陸沿岸道路建設事業に伴い岩手県埋蔵文化財センターによる平成29年度(2017)の調査で、早期とみられる土坑、白浜式土器が出土している。

前期の遺跡として、ゴッソー遺跡(20)、上のマッカ遺跡(43)、北ノ沢 I 遺跡(163)、小田ノ沢 I 遺跡(200)などがある。ゴッソー遺跡は早期〜晩期の縄文土器が出土しているが、前期初頭の遺物量が多く、特に平成 6 年度の岩手県埋蔵文化財センターによる本発掘調査で出土したコンパス文土器や押型文土器は岩手県で初めての出土とみられる。同遺跡も昭和 36 年に草間氏により発掘調査された遺跡で、縄文時代前期の土器を中心に縄文時代早期の土器、弥生時代の土器、土師器片、石器を採集したとの報告がある。なお、上のマッカ遺跡は昭和 36 年、草間氏の調査により、貝塚が存在する可能性が指摘されている。

中期の遺跡として、千敷平遺跡 (4)、ゴッソー遺跡 (20)、上のマッカ遺跡 (43)、北ノ沢 I 遺跡 (163) などがある。平成 27 年度 (2015) 洋野町教育委員会によるゴッソー遺跡の本発掘調査では、中期初頭の竪穴住居跡が 1 軒発見され、三重の入れ子にした土器埋設炉と単体の土器埋設炉が並列した状態で出土した。その入れ子の土器埋設炉の中からヒエの胚乳が検出されている。

後期の遺跡として、平内Ⅱ遺跡(65)、上水沢Ⅱ遺跡(92)、西平内Ⅰ遺跡(185)、南川尻遺跡(194)、サンニヤⅠ遺跡(195)、北鹿糠遺跡(196)、下向Ⅰ遺跡(202)、続石遺跡(213)、サンニヤⅢ遺跡(218)などがある。町内の縄文時代の遺跡で、後期前葉に位置付けられる遺跡が一番多く、その中でも溝状土坑(陥し穴状遺構)と

後期前葉の土器が出土する遺跡が多数を占める。平内Ⅱ遺跡は洋野町教育委員会により、平成11年度(1999)から平成25年度の間、延べ6箇年発掘調査が行われた。屋外炉、集石、焼土遺構、溝状土坑が検出されており、出土した土器は主に後期前葉に位置付けられる。上水沢Ⅱ遺跡は平成12年度(2000)に岩手県埋蔵文化財センターにより本発掘調査が行われ、後期前葉から後葉の竪穴住居跡が11軒発見された。

なお、三陸沿岸道路建設事業に伴い発掘調査が行われた遺跡で、後期に属する竪穴住居跡が検出された遺跡は、上のマッカ遺跡(43)、西平内 I 遺跡(185)、南川尻遺跡(194)、サンニヤ I 遺跡(195)、北鹿糠遺跡(196)、鹿糠浜 II 遺跡(197)、小田ノ沢 I 遺跡(200)、南鹿糠 I 遺跡(206)、板橋 II 遺跡(221)があり、南川尻遺跡は後葉、それ以外は前葉のものである。

晩期の遺跡として、たけの子遺跡(21)、大平遺跡(32)、ニサクドウ遺跡(58)、戸類家遺跡(61)、田ノ沢遺跡(63)などがある。特にたけの子遺跡は町内で晩期を代表する遺跡である。昭和36年度、岩手県遺跡台帳作成調査において、太平洋戦争中、開墾の際には多数の土器が出土していたが、その後植林されており包含層は良好で、重要な遺跡であるとの報告がある。洋野町立種市歴史民俗資料館収蔵の考古資料の多くはこの遺跡からの出土である。戸類家遺跡は昭和32年(1957)に慶應義塾大学江坂輝彌氏による発掘調査が行われており、土器、石器の他に土偶が出土し、現在、慶應義塾大学考古学研究室に収蔵されている。また、昭和7年(1932)には岩手県史跡名勝天然記念物調査会委員であった小田島禄郎氏が旧種市町を訪れており、その時に採集された田ノ沢遺跡、八木貝塚の出土遺物が岩手県立博物館に収蔵されている。

なお、貝塚遺跡としてホックリ貝塚(33)、八木貝塚(37)、小子内貝塚(40)、黒マッカ貝塚(41)がある。ホックリ貝塚からは当時、岩手県で初めて縄文時代の製塩土器が出土しており、久慈市の大声 I 遺跡で平成 9 年(1997)に発見されるまで、製塩土器が発見された県内唯一の遺跡であった。海岸付近に位置する同貝塚は、昭和 24 年(1949)に行われた造船所の建設工事によりほぼ壊滅したとみられるが、製塩遺跡であった可能性がある。洋野町の玉沢重作氏により製塩土器が発見され、その後、岡山大学近藤義郎氏が、昭和 35 年(1960)同遺跡を調査し、土器の検討を行っている。このほか縄文時代の製塩土器は、ゴッソー遺跡の平成 12 年度(2000)岩手県埋蔵文化財センターによる本発掘調査でコンテナ 1 箱分出土している。洋野町立種市歴史民俗資料館には、たけの子遺跡で採集された縄文時代の製塩土器片が多数収蔵されている。また、平成 16 年度の種市町内遺跡詳細分布調査において、南平内 I 遺跡(182)より製塩土器片が縄文晩期の土器とともに発見された。同遺跡は現在の汀線まで約 150m の距離であるが、時代によっては汀線付近であった可能性もある。遺跡の残存状況も良くないため詳細は不明であるが、位置から推測すると製塩を行った遺跡であることも考えられる。

弥生時代の遺跡として、大平遺跡 (32)、大宮 II 遺跡 (47)、大宮 II 遺跡 (48)、平内 II 遺跡 (65)、上水沢 II 遺跡 (92) などがある。先述した平内 II 遺跡では、平成 25 年度の調査で弥生時代前期後葉の竪穴住居跡が 2 軒検 出されている。上水沢 II 遺跡では弥生時代後期の竪穴住居跡が 1 軒検出され、土器がコンテナ約 1 箱分出土している。なお、西平内 I 遺跡では、沈線間に交互刺突文を有する弥生時代後期の土器片が出土している。

古墳時代の遺跡については、三陸沿岸道路建設に伴う南鹿糠 I 遺跡 (206) の発掘調査において、7世紀の竪 穴住居跡が検出されている。

また、袖山遺跡 (38) においては、剣形の石製模造品が表面採集されている。同品も玉沢重作氏により発見されたもので、長さ4.2cm、最大幅1.5cm、厚さは最大で4mm、重さは3.6g、石材は北上山地が産出地の蛇紋岩で、色調は暗緑灰色である。茎の表現が簡略化された二等辺三角形に三角形を付加した形状で、全体が丁寧に研磨されて、頭部には垂下孔とみられる径2mmの穿孔があり、表面は鎬が表現されている。形状から5世紀後葉より古い可能性がある。袖山遺跡は標高約50mの海岸段丘上に立地し、現状は山林などで、主な時代は縄文時代であるが、石製模造品の他には当該期の遺物は発見されていない。昭和28年(1953)に東北大学伊東信雄氏が東北地方の石製模造品の集成を発表した「東北地方に於ける石製模造品の分布とその意義」により同品が紹介され知

られるようになった。この石製模造品も、昭和58年(1983)に一戸町馬場平遺跡から発見されるまで、県内唯一のものであった。

奈良・平安時代の遺跡として、城内遺跡 (11)、ニサクドウ遺跡 (58)、二十一平遺跡 (69)、八森遺跡 (73)、 鹿糠浜 II 遺跡 (197)、サンニヤ II 遺跡 (205)、舘野遺跡 (207) などがある。サンニヤ II 遺跡では、三陸沿岸道 路事業に伴い平成 26 年度・27 年度の岩手県教育委員会による発掘調査で、8 世紀後半から 9 世紀前半の時期の 竪穴住居跡が 3 軒検出されている。また、国道 45 号線種市登坂車線整備事業に伴い、岩手県埋蔵文化財セン ターにより平成 28 年度 (2016) に調査が行われた八森遺跡でも 8 世紀代の竪穴住居跡が 1 軒検出されている。 城内遺跡からは 8 世紀代と考えられる土師器の長胴甕、球胴甕、甑、土師器坏が出土している。また、草間氏の 『種市の歴史(原始~中世)種市町諸遺跡の調査報告』によるとニサクドウ遺跡で土製支脚、土師器坏が出土している。

なお、三陸沿岸道路建設に伴う上のマッカ遺跡の発掘調査において、土師器と製塩土器を伴う竪穴建物跡が検出されている。また、床面からは2基の炉跡が検出されており、土師器の年代から10世紀後半~11世紀の製塩工房とみられる。

平安時代の製塩土器は、二十一平遺跡でも出土している。同遺跡は岩手県と青森県境を流れる二十一川の南側の汀線付近に位置する。 海岸整地に伴う重機の掘削により遺跡の存在が明らかになり、平成 15 年度(2003)に新規登録された。製塩土器片、土製支脚片が多量に散布し、被熱したような円礫もみられた。現在までにコンテナで約5箱分が採集されている。遺跡の立地、発見された遺物の状況から製塩を行った可能性が高いが、保存状況は重機の掘削により一部破壊されていると考えられる。また、未登録の遺跡ではあるが、駒木野智寛氏、相原淳一氏による古津波堆積層の調査に伴い海岸付近で採集された製塩土器もある。なお、古代の製塩土器は海岸から 6.2kmの舘野遺跡でも採集されており、町内には縄文時代や古代の製塩土器、土製支脚を伴う遺跡が多く所在することが予想され、製塩遺跡の発見や製塩土器の資料の増加が見込まれる。

主な中世の遺跡として、城館跡が27遺跡登録されている。城館の分布調査が昭和59年(1984)に岩手県教育委員会により行われているが、ほとんどが城主などの詳細が不明である。

種市の城内地区には種市氏の居城である種市城跡が所在する。種市氏は中世〜近世初期に当地方を領有していた三戸南部氏(後の盛岡南部氏)の家臣である。『南部藩参考諸家系図』(以後系図)によれば、種市中務(実名不詳)が三戸南部氏24代晴政から種市村、蛇口村(軽米町)ならびに傍村賜り種市村に居住したとある。およそ16世紀半ば頃と推測されるが、それ以前のことは不明である。『奥南旧指録』には、三戸南部氏25代晴継の股肱の臣として中務が久慈備前らと名を連ねており、三戸南部氏の有力家臣であったとみられる。系図によると、種市中務の長男光徳は同じく中務と称した。光徳は三戸南部氏26代信直(初代盛岡藩主)から種市村ならびに傍村に600石を賜ったとある。『聞老遺事』によると、天正19年(1591)九戸政実の乱の際、信直方に属し18人の部下と鉄砲三挺、弓三張で参陣している。また、2代盛岡藩主利直の時に起きた慶長5年(1600)の岩崎合戦では、部下18人と参陣している。なお、系図には光徳の妻は根城南部氏(後の遠野南部氏)18代八戸政栄の弟新田政盛の娘であることが記されている。

その後光徳の長男孫三郎が家督を継いだ。『聞老遺事』によれば大坂夏の陣に出陣している。光徳と孫三郎父子は、初代盛岡藩主信直、2代盛岡藩主利直父子に仕え活躍した家臣であったが、孫三郎は3代盛岡藩主重直の時、罪ありということで禄を没収され、慶安2年(1649)に没している。

光徳の次男吉広は系図によれば、天正 15 年(1587)に初代盛岡藩主信直から閉伊口村(久慈市)を賜り住んでいたが、天正 17 年(1589)に蛇口村に替地を賜り、蛇口氏に姓を変えている。

岩手県遺跡台帳には、平時居住していた平城の種市城跡 (16) と非常時に立てこもったとされる山城の種市城跡 (17) が登録されている。平城の種市城跡は JR 八戸線種市駅より西へ約 9kmに所在し、平城跡は現在でも馬

場屋敷、的場、神楽屋敷など当時の名残と思われる地名が存在する。そこから南西へ約 1kmに山城の種市城跡が位置する。

天正 18 年(1590)、豊臣秀吉の朱印状により初代盛岡藩主信直が「南部内七郡」を安堵されると、八戸・九戸地方一帯は信直が直接支配することとなり、寛永 4 年(1627)に根城南部氏が伊達氏に対する備えを理由に遠野へ転封されると盛岡藩の直轄地になった。八戸には八戸城代が配置され、さらに八戸地方には八戸代官、九戸郡には久慈代官を派遣し支配にあたったようである。

寛文 4年(1664)9月、3 代盛岡藩主重直が跡継ぎを決めないままに死去した。同年11月、幕府は重直の次弟の重信と末弟の直房を呼び、盛岡藩 10万石のうち8万石を重信に相続させ、残り2万石を直房に与え、新規に一藩をおこさせる処置を取った。寛文 5年(1665)2月、盛岡藩より領地の配分が行われ、八戸を居城とし、三戸郡 41 箇村、九戸郡 38 箇村、志和郡 4 箇村、都合83 箇村が付与された。八戸藩は、各村の支配のため通制という行政区域を用い、三戸郡には八戸廻・名久井通・長苗代通、九戸郡には軽米通・久慈通、志和郡には志和の行政区を設定し、各通には代官所を配置した。種市は八戸廻、大野は久慈通に属していた。

八戸藩の主な産業は、商業、林業、漁業、製塩業、鉄産業、造船業などがあり、特に製鉄業は原料である砂鉄と燃料の薪炭材が豊富であったため盛んに行われた。 製鉄に関する史料は八戸藩の藩庁の日記である『目付所日記』、『勘定所日記』、民間の史料では『晴山家文書』、『淵沢家文書』、『西町屋(石橋)文書』 などがあり、様相を知ることができる。

製鉄の中心地は大野で、鉄山会所として日払所がおかれ、鉄山支配人が詰めて生産方を指揮した。天保9年 (1838) には、大野の鉄山として玉川山、金取山、葛柄山、水沢山、大谷山、川井山、滝山の七山があった。『晴山家文書』の天保8年 (1837)「寛政年中より拾書」は鉄山支配人の経緯が記されているが、晴山文史郎から安永7年 (1778) に初代晴山吉三郎へ受け継がれ、その後数人の支配人を経て、享和2年 (1802) からは飛騨の浜谷(屋)茂八郎が引き継いだ。文政6年 (1823) には、鉄山は藩営となり、石橋徳右衛門が支配人に就任して、その下支配人に二代目晴山吉三郎が就いた。さらに天保5年 (1834) の百姓一揆後は、軽米の淵沢円右衛門が支配人を命じられ、天保9年からは江戸の美濃屋宗(惣)三郎(家臣名金子丈右衛門)へと移った経過が記されている。

近世の遺跡として町指定史跡の有家台場(46)がある。『目付所日記』によると、八戸藩では幕府から異国船警戒の命を受けて、寛政 3 年(1791)に鉄砲堅・目付御用掛を任命し、異国船の警戒に当たらせたようである。寛政 5 年(1793)の中里覚右衛門書き上げの「堅場」には「大堅」として鮫村、麦生、「小堅」として八太郎浦、湊浦、小船渡浦、有家浦、中野浦の名があげられている。藩の日記などには異国船の出没記録がいくつかあるが、目付所日記によると文政 8 年(1825)有家浦の沖合 15 里に異国船一隻が近寄り、伝馬船二隻を出して上陸の様子をみせたので、弓・鉄砲衆など計 34 人の藩士が同日に派遣されたことが記されている。その後、安政元年(1854)八太郎・湊場尻・館鼻・塩越・鮫・小船渡・有家・久慈湊に台場が築かれ、有家にも陣屋堅の役人が任命された。有家台場の現況は、八戸線の建設工事などで大部分が破壊されているものの、盛土遺構の一部が残存している。

当町の特徴を示す製鉄関連の遺跡は、21 箇所(旧種市町 16 箇所、旧大野村 5 箇所)登録されている。先述した七山の一つである大谷鉄山(26)は大谷地区にあり、鉄山操業により形成された集落とみられ、製鉄に関わった人々の子孫が多く居住している。製鉄関連の遺跡調査については、岩手県教育委員会の製鉄関連遺跡の詳細分布調査において、旧種市町 5 箇所、旧大野村 35 箇所の遺跡の所在を確認している。また、元野田村教育長、田村栄一郎氏によるたたら遺跡の踏査によると、旧種市町は鉄山跡 12 箇所の他、密銭場跡や鍛冶場跡など 15 箇所、旧大野村については製鉄関連の遺跡 42 箇所と鍛冶場跡を調査した結果の報告(1987『みちのくの砂鉄いまいずこ』)がある。鉄滓が採集される遺跡が少なくとも 60 箇所以上にのぼり、未発見のものも含めると相当数に

なると考えられる。

なお、三陸沿岸道路建設事業に伴う発掘調査において南八木遺跡(201)で古代~中世の製鉄関連の遺跡が発見された。少なからず近世以前のものも所在することが予想されるが、岩手県内製鉄関連遺跡調査事業に伴い当町を踏査した佐々木清文氏によるとほとんどが近世のもので、それ以前のものは所在しても少数であろうとのご教示をいただいている。今後製鉄関連の詳細な町内全域の分布調査を行い、製鉄関連遺跡分布図の作成、遺跡の登録作業が必要である。

製鉄以外の金・銀・銅・鉛鉱山のいわゆる非鉄鉱業については、八戸藩の日記類に僅かにみられるが、盛岡藩領に比べ八戸藩領内には大きな金山はなく、小規模な金山がいくつかあるのみとみられる。『梅内家文書』の慶安2年の「砂金採取運上金請取状」によると、沢尻、雪畑、小手沢、野そうけ山に金山があったことが記されている。岩手県遺跡台帳には金山跡として、小手野沢金山(14)、ノソウケ金山(23)の2遺跡が登録されている。

<引用・参考文献>

伊東信雄 1953「東北地方に於ける石製模造品の分布とその意義」 『歴史第6輯』 東北史学会

草間俊一 1963『種市の歴史(原始-中世)種市町諸遺跡の調査報告』種市町役場

角川書店 1985 『角川 日本地名大辞典 3 岩手県』

岩手県教育委員会 1986 『岩手県中世城館分布調査報告書』岩手県文化財調査報告書第82集

田村栄一郎 1987『みちのくの砂鉄いまいずこ』

(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

1996『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 238 集岩手県教育委員会 1998『岩手の貝塚』岩手県文化財調査報告書第 102 集

(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

2001『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 357 集 岩手県久慈地方振興局久慈農村整備事務所・(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

2002『上水沢Ⅱ遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 391 集

岩手県種市町教育委員会 2004『平内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』種市町埋蔵文化財調査報告書第1集

岩手県種市町教育委員会 2005『種市町内遺跡詳細分布調査報告書 I』 種市町埋蔵文化財調査報告書第2集

岩手県教育委員会 2006『岩手の製鉄遺跡』岩手県文化財調査報告書第122集

洋野町 2006『大野村誌第二巻史料編1』大野村誌編さん委員会

洋野町 2006『種市町史第六巻通史編 (上)』種市町史編さん委員会

岩手県洋野町教育委員会 2013『平内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第1集

岩手県洋野町教育委員会 2015『平内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第2集

(公財) 岩手県文化振興事業団 2015 『平成 26 年度発掘調査報告書 南川尻遺跡 下向遺跡 沼袋Ⅱ遺跡 沼袋Ⅱ遺跡

八幡沖遺跡 ほか調査概報 (39 遺跡)』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 647 集 岩手県教育委員会 2016『岩手県内遺跡発掘調査報告書 (平成 26 年度復興関係)』岩手県文化財調査報告書第 146 集 (公財) 岩手県文化振興事業団 2016『平成 27 年度発掘調査報告書 サンニヤ遺跡 房の沢IV遺跡 白石遺跡

ほか調査概報 (33 遺跡)』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 661 集

岩手県洋野町教育委員会 2017『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第3集

岩手県教育委員会 2017 『岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成27年度復興関係)』岩手県文化財調査報告書第149集

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所 · (公財) 岩手県文化振興事業団

2017『西平内 I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 673 集 (公財) 岩手県文化振興事業団 2017『平成 28 年度発掘調査報告書 岩洞湖 I 遺跡・栃洞 IV 遺跡・八森遺跡

ほか調査概報 (28 遺跡)』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 676 集 岩手県教育委員会 2018『岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成 28 年度復興関係)』岩手県文化財調査報告書第 152 集 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2018 『北鹿糠遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 686 集国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2018 『サンニヤ I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 687 集 (公財) 岩手県文化振興事業団 2018 『平成 29 年度発掘調査報告書 岩洞湖 I・H遺跡 和野新墾神社遺跡 北野知遺跡 木戸場遺跡 中野城内遺跡 沼里遺跡 根井沢穴田Ⅳ遺跡 耳取 I 遺跡 千厩城遺跡

ほか調査概報 (23 遺跡)』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 692 集 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『南鹿糠 I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 697 集国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『上のマッカ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 698 集国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『小田ノ沢遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 699 集国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『鹿糠浜Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 702 集国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団

2019『南八木遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第703集 岩手県洋野町教育委員会 2019『西平内I遺跡ハンドボーリング調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第4集 岩手県洋野町教育委員会 2019『続石遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第6集 久慈広域連合・岩手県洋野町教育委員会 2020『尺沢遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第8集 岩手県洋野町教育委員会 2020『西平内I遺跡発掘調査報告書』洋野町埋蔵文化財調査報告書第9集



第2図 町内遺跡分布図

* * 10 10 文献 * * 伝吉遺跡から名称・範囲変更 (平成 23 年度)、 範囲変更 (平成 25 年度) 蝦夷森 (アイヌ森) 遺跡から名称・範囲変更 (平成 23 年度) 平内遺跡から名称・範囲変更(平成23年度) 小手野山金山より名称変更 (平成 13 年度) 八幡館より名称変更 (平成13年度) 参 範囲変更 (平成23年度) 範囲変更(平成23年度) 瞴 八戸藩大野村鉄山 平成6年度·12年度 27年度本発掘調査 昭和59年度調査 調査経歴 種市第70 地割 種市第18地割 種市第71地割 種市第 42 地割 種市第39地割 種市第28地割 種市第24地割 種市第56地割 種市第50地割 種市第50地割 種市第60地割 種市第60地割 種市第51地割 種市第 21 地割 種市第21地割 種市第19地割 種市第70地割 種市第43地割 整次住居跡、陥し穴状遺構、焼土遺構、柱穴状 小士坑、土坑、縄文土器(早~晩期)、製塩土器、 弥生土器、石器 礫石器、 蘇器 敲石、 上節器 縄文土器(早·前·後期)、剥片石器、土師器等 剥片 4 縄文土器(前・中・晩期)、石斧、 縄文土器 (後・晩期)、製塩土器 縄文土器 (前・後・晩期)、石斧、 魍 縄文土器 (中期)、弥生土器 縄文土器(前・中・晩期)、 縄文土器 (晩期)、土師器 土師器壷 縄文土器 (後期)、石器 縄文土器 (前・中期)、 難 縄文土器 (後・晩期) 婴次 平場 瘦 採掘跡 土師器長胴甕、 単郭、堀跡、 堀跡 (破壊) 堀跡 (破壊) 玉揚 媚跡、 堀跡、平場 単郭、堀跡 単郭、堀跡 縄文土器 屋敷跡、 掘跡、 単郭、 石垣 掘跡 石垣 鉄滓 ¥ 古代 古代 弥生 古代 古代 盐 鯔大 縄文、 鯔大 鯔文、 鯔文、 離文 鰮大 鴽文 鯔文 半 鯔文 # # **半** 士 #1 +1 近年 #1 #-**担** 于 世 半 井 鰮大 離文 中点 # + 単 山山 鯔文 狩猟 砂金採取跡 砂金採取跡 畐 製鉄関連 集落跡、場跡 城館跡 散布地 散布地 散布地 散布地 集落跡 散布地 城館跡 散布地 散布地 集落跡 城館跡 集落跡 城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 散布地 散布地 城館跡 種 こてのさわきんざん のそうけきんざん はちまんどうだて にしのだていち かどかわめいち たねいちじょう たねいちじょう せんじきだいら あらやしきだて こてのさわだて でんきちいち ひらないいち いたばしだて こがようだて みなみだて たてのだて かどのはま どばしだて とちのき けっかし たけのこ よこれ (八幡蝦夷館) 小茅生館 (タテッコ) (蝦夷館) 遺跡名 小手野沢金山 種市城 (平城) 種市城 (山城) ノソウケ金山 小手野沢館 八幡堂館 トチの木 荒屋敷館 大谷鉄山 西/館I 角川目Ⅰ たけの子 ゴッソー 舘野館 土橋館 板橋館 大久保 和座館 千敷平 伝吉 I 平内I 南館 横手 荒巻 城内 IF57-0229 遺跡コード IF48-2283 IF57-2033 IF66-0156 IF66-0300IF67-2146 IF37-1386 F38-1086 IF48-0170 IF48-1276 IF56-0330IF56-0370 IF57-0086 IF57-0264 IF57-0309 IF57-0317 IF57-1023 IF58-0169 IF58-0341 IF58-1006 IF58-1205 IF37-2396 F 47-2334 IF58-0034 IF67-1131 IF69-1094 IF48-2234 ∞ 6 10 12 13 14 15 91 17 18 19 21 22 23 24 53 8 27

第1表 町内の遺跡一覧(1)

No.	通路コード	遺跡名	よみがな	種別	時代	遊 株 · 遺 物	所在地	調査経歴	垂	文献
88	IF69-1157	宿戸館	しゅくのへだて	城館跡	中	単邦、堀跡、平場	種市第7 地割	昭和59年度調査		
53	IF69-2013	西の館	にしのだて	城館跡	単	土塁、堀跡、平場	種市第7地割	昭和59年度調査		
30	IF69-2020	西ノ館エ	にしのだてに	散布地	縄文	縄文土器(晩期)、石器、土偶	種市第7地割		名称変更 (令和元年度)	
31	IF69-2041	上岡谷	かみおかや	散布地	縄文	縄文土器(後期)	種市第7地割			
32	IF69-2380	大平	おおだいら	集落跡	縄文、弥生	縄文土器(早・晩期)、弥生土器	種市第3地割		範囲変更(令和元年度)	
33	IF69-2393	ホックリ貝塚	ほっくりかいづか	月塚	縄文、古代	縄文土器、製塩土器、カキ、ミルクイ、土師器	種市第2地割		範囲変更 (令和元年度)	
8	IF77-0201	細沢鉄山	ほそざわてつざん	製鉄関連	近世	鉄淬	種市第74地割			
32	IF77-1027	濁川鉄山	にごりかわてつざん	製鉄関連	が市	鉄滓	種市第73地割			
98	IF79-0123	小田の沢鉄山	こだのさわてつざん	製鉄関連	近市	鉄滓	種市第3地割			
37	IF79-0351	八木貝塚	やぎかいづか	月塚	縄文	縄文土器(晩期)、鹿角	種市第1地割			
88	IF79-0373	神山	そっちま	集落跡	縄文、古墳	縄文土器(中・後期)、石製模造品(古墳時代)	種市第1地割			
88	IF79-1245	長坂I	ながさかいち	散布地	縄文	縄文土器(後・晩期)	小子内第1地割		名称変更 (令和元年度)	
40	IF79-1358	小子内貝塚	おこないかいづか	月塚	縄文	染付磁器、鉄片、ミルクイ、イシダタミ	小子内第5 地割			
41	IF79-2344	黒マッカ貝塚	くろまっかかいづか	月塚	縄文、古代	縄文土器(後期)、石器、土師器	有家第2地割			
42	IF89-0339	向折戸	むかいおりど	集落跡	縄文	縄文土器(晩期)、石斧	有家第3地割			
43	IF89-0340	上のマッカ	うえのまっか	集落跡	縄文、古代、 中世、近世	竪穴住居跡、竪穴建物跡、陥し穴状遺構、土抗、 焼土遺構、炭窯跡(近世)、縄文土器(早~後期)、 製塩土器、上師器、石器、古銭	有家第5地割	平成27年度·29年度 本発掘調査	範囲変更 (平成 23 年度)	* 22
4	IF89-0353	有家館	うげだて	城館跡	単	単邦、堀跡(破墺)	有家第5地割	昭和59年度調査	範囲変更(平成23年度)	
45	IF99-1153	芦毛渡鉄山	あしげわたりてつざん	製鉄関連	近世	鉄溶	中野第7 地割			
46	IG80-0056	有家台場	うげだいば	砲台場跡	近世	土塁	有家第8地割	昭和59年度調査		
47	IG80-1006	大宮エ	おおみやに	散布地	縄文、弥生	縄文土器(早期)、弥生土器	中野第2地割			
48	IG80-1008	大宮 I	おおみやいち	集落跡	縄文、弥生	縄文(早・前・晩期)、石錘、弥生土器	中野第2地割			
49	IG80-1063	長根塚	ながねづか	散布地	縄文	縄文土器	中野第2地割			
20	IG80-2004	中野館(館桜・蝦夷館)	なかのだて	城館跡	中世	単郭、堀跡(破壊)	中野第4地割	昭和59年度調査		
51	IG90-0005	蝦夷塚	えぞづか	集落跡	縄文	縄文土器	中野第11 地割		範囲変更(平成23年度)	
25	IG90-0085	藤好沢	ふじよしざわ	集落跡	縄文	縄文土器(前・晩期)、石刀	中野第7 地割			
53	IF38-1072	アイヌ森	かいなもり	散布地	縄文、弥生、 古代	縄文土器(前~晩期)、縄文晩期後業~弥生前期 の土器、石器、土師器	種市第39 地割		浜通遺跡から名称・範囲変更(平成 23 年度)	**
54	欠番	1	1	I	1	1	1	1	北ノ沢遺跡(登録抹消)	
22	IF48-0194 平内II	平内田	ひらないさん	散布地	縄文	縄文土器(中期)、磨石	種市第34地割		範囲変更(平成23年度)	*

第1表 町内の遺跡一覧(2)

平成15年度新規発見、範囲変更(平成23年度) 平成16年度新規発見、範囲変更(平成23年度)、名称変更(令和元年度) 平成16年度新規発見、範囲変更(平成23年度) 参 範囲変更(平成23年度) 範囲変更 (平成23年度) 平成13年度新規発見 瞴 平成28年度本発掘調査 平成11~13年度·23 ~25年度本発掘調査 昭和59年度調査 昭和59年度調査 昭和59年度調査 昭和59年度調査 調査経歴 大野第49 地割 大野第55 地割 種市第30地割 種市第21地割 種市第11 地割 種市第43地割 種市第66 地割 種市第14地割 大野第20地割 大野第29地割 大野第36地割 大野第13地割 大野第72地割 種市第37 地割 種市第7 地割 有家第3地割 期前葉) 弥生土器(前期後半)、土製品、石器、石製品、鉄製品、種管、銭貸、屋外炉、土坑、溝沢土坑、集石、溝跡、燒土遺構 竪穴住居跡、縄文土器(早期中葉・中期末~後 縄文土器(後期)、敲石、礫器、土師器 竪穴住居跡、縄文土器、土師器、 瘕 上節器 縄文土器 (後・晩期)、石器 縄文土器 (晩期)、土師器、 平場 縄文土器 (晩期)、土偶 縄文土器 (後期)、石器 縄文土器 (後期)、石器 難 縄文土器 (中・晩期) 製塩土器、土製支脚、 掘跡、 魍 縄文土器 (晩期) 縄文土器 (中期) 縄文土器 (早期) 縄文土器 (前期) 縄文土器、石器 堀跡、平場 単郭、土塁、 郭跡、堀跡、 堀跡、単郭 縄文土器 縄文土器 縄文土器 縄文土器 縄文土器 縄文土器 鉄滓 石棒 弥生、 古代 古代 奈良 盐 縄文、 維文、 鯔文、 縄文、 近世 編文 鯔文 離文 鯔大 鯔文 鯔文 鯔文 鯔文 離文 鯔文 古代 韞文 細文 繼文 鴽文 鯔文 離文 半 近世 #1 #-世 出 鯔文 製塩遺跡 集落跡、 狩猟場跡 製鉄関連 散布地 散布地 散布地 散布地 散布地 散布地 散布地 散布地 集落跡 散布地 散布地 散布地 集落跡 集落跡 散布地 散布地 散布地 集落跡 散布地 散布地 城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 種 うしころばしばやしだて にじゅういちたい むかいながね たまがわいち むかいだいち さわやまだて たかとりいち はぎのわたり たかとりに あけどだて ひらないに たまがわに むかいやま むかいだに たのさわ ばばいち いしくら おおさわ ひつわり おおはま はちもり むかいだ へるけ ながね たて 遺跡名 沢山館(蝦夷館 牛転ばし林館 たてひら館 ニサクドウ

ი 9 % ≀

**

文献 *

3 町内の遺跡一覧 第1表

計1十1

IF38-0098 IF59-2161 IF59-2038

大沢

1F56-2350

IF69-1109

XIIII 玉川正 馬場I 明戸館 萩の渡

IF87-1082

IF87-2100 IF87-2366 F96-0272

IF96-0387

82

IF88-2284

向田口

回田

向田田

IF89-0314 IF86-0118 IF86-0137 IF86-0144

IF69-1126

72 73 74 75 9/ 77 28 79 8

田ノ沢 向長根

IF68-2337 IF89-0378

64

回正

IF69-0042 IF69-2113 平内口

IF48-0017

65

大流

IF79-0119

99 67 89 69 2

高取Ⅱ

IF57-2279

高取 I

IF57-2323

IF56-1358

IF48-2023

57 88 26 99 61 62 63

遺跡コード

56 IF48-1025

第1表 町内の遺跡一覧(4)

:	- Taranta		1				1	and of the state	1	4	44.
No.	1 一口歯側	遺跡名	よみがな	種別	世	道稀,道物	外在地	調査経歴	二	松	対
83	IF96-1280	蝦夷森館	えぞもりだて	城館跡	中世	郭跡、堀跡、平場	大野第10 地割	昭和59年度調査			
28	IF96-2238	横岸沢皿	よいぎしがかい	散布地	縄文	石器、谱	大野第4地割				
88	IF96-2249	横岸沢I	よこぎしざわいち	散布地	縄文	石器、歯	大野第5地割				
%	IF96-2316	大野館	おおのだて	城館跡	単	平場	大野第5地割	昭和59年度調査			
87	IF97-0012	ひともっこ館	ひともっこだて	城館跡	単士	单郭、堀跡、平場、竪穴	大野第69 地割	昭和59年度調査			
88	IF97-2055	金ケ沢	かねがさわ	散布地	縄文	縄文土器(前期)	大野第59 地割				
68	IF98-1299	阿子木館	あこぎだて	城館跡	単士	単郭、堀跡、竪穴	阿子木第4地割	昭和59年度調査			
06	JF07-0168	司森 II	たかもりに	散布地	縄文	縄文上器	大野第57 地割				
16	JF07-2061	上水沢 I	かみみずさわいち	散布地	縄文	縄文土器	水沢第5地割				
85	JF07-2188 上水沢 II	上水沢Ⅱ	かみみずさわに	集落跡	縄文、弥生	整次住居跡、住居状遺構、土抗、柱穴状土坑、 焼土遺構、埋設土器遺構、縄文土器(早~後 期)、弥生土器、土製品、石器、鉄製品、銭貨 (寛永通宝)、アスファルト塊、陶磁器(近・現 代)、遺物包含層	水沢等 7 址割	平成12年度本発掘調査		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	23 **
93	JF07-2196	上水沢皿	かみみずさわさん	散布地	縄文	縄文土器	水沢第7 地割				
94	JF07-2204	高森I	たかもりいち	散布地	縄文	縄文土器	水沢第7地割				
92	JF07-2272	上水沢Ⅳ	かみみずさわよん	散布地	縄文	縄文土器	水沢第7 地割				
96	JF07-2275	上水沢 (蝦夷館)	かみみずさわご	城館跡	中世	単郭	水沢第7 地割	昭和59年度調査			
26	JF07-2288	下水沢I	しもみずさわいち	散布地	縄文	剥片	水沢第8地割				
86	JF07-2294	上水沢切	かみみずさわろく	散布地	縄文	縄文土器	水沢第9地割				
66	JF08-0067	堤内	しつみない	散布地	縄文	縄文土器	大野第57 地割				
100	JF08-0129	I景日	ひなたいち	散布地	古代	上節器	大野第57 地割				
101	JF08-0186	下帯鳥Ⅰ	しもたいしまいち	散布地	縄文	縄文土器	帯鳥第11 地割				
102	JF08-0221	工票日	ひなたに	散布地	縄文	縄文土器	阿子木第9 地割				
103	JF08-0225	阿子 木	も ど が	散布地	縄文	縄文土器	阿子木第12 地割				
104	JF08-1108	下带鳥工	しもたいしまに	散布地	縄文	縄文土器	帯島第11 地割				
105	JF08-1156	蝦夷館Ⅰ	えぞだていち	城館跡	中申	平場、堀跡	帯鳥第5地割	昭和59年度調査			
106	JF08-1199	上帯鳥Ⅰ	かみたいしまいち	散布地	縄文	縄文土器	带島第8地割				
107	JF08-1225	二ツ屋	ふたつや	散布地	縄文	縄文土器	阿子木第18地割				
108	JF08-1254	下带島皿	しもたいしまさん	散布地	古代	上節器	阿子木第18地割				
109	JF08-1272	下带島Ⅳ	しもたいしまよん	散布地	縄文	縄文土器	带島第9地割				

第1表 町内の遺跡一覧(5)

PROS-2026 PROS-2024 PR	Z	2 1 古典	乗品を	4,4,7	4 01	47	4 ************************************	幸 木 出	銀水公庫	毋	¥	中中十
PURSIZED 1286 100	TAG:			6, 7140 6		b		NITE AR	PM_H_PLOS	BLA	ę	と呼べ
POR 2015 POR 5015 POR 5015 Rock 50	110	$\overline{}$	二ツ屋向	ふたつやむかい	散布地	縄文	縄文土器	阿子木第 12 地割				
Prop. 2022 Age	111		長塚森I	ちょうづかもりいち	散布地	縄文	縄文土器	阿子木第 12 地割				
Prob 2017 大変が (112	_	三茶田	たかもりさん	散布地	縄文	縄文土器	带島第4地割				
FORMSZOR 1 大変なく (พ.9.46) 大変なく (พ.9.46) 大変なく (พ.9.45) 体験所 (พ.2.45) 中世 (พ.5.45) 中班 (พ.5.45) 市路市 (พ.5.45) 市 (พ.5.45) <td>113</td> <td>_</td> <td>大渡IV</td> <td>おおわたりよん</td> <td>散布地</td> <td>細文</td> <td>細文上器</td> <td>带島第1地割</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	113	_	大渡IV	おおわたりよん	散布地	細文	細文上器	带島第1地割				
FORESTIZ 職会館 中世 単系 報告 新島等名権制 新島等名権制 FORESTIZ 開口工 社舎ぐちいち 散布施 縄文 超大上部 研入上部 新島等名権制 FORESTIZ 開口工 社舎ぐちいち 飲布施 縄文 超大上部 新房等の連出 新島等の連出 FORESTIZ 上売島工 かみたいしまさん 飲布施 縄文 超大上部 福及 福及上部 海路等の連出 FORESZIZ 上売島工 かみないしまさん 飲布施 縄文 超大上部 荷房等の連出 市局等の連出 FORESZIZ 上売島工 かくさかいち 飲布施 縄文 超大上部 荷房等の連出 市局等の連出 FORESZIZ 井田田 かくさかいち 飲布施 縄文 超大上部 市局等の連出 市局等の連出 FORESZIZ 美塚工 いやさかし 飲布施 縄文 超大上部 海湾 海外等 FORESZIZ 美塚工 いやさかし 飲布施 縄文 超大工部 海外等 海湾 FORESZIZ 美塚工 いやさかしのもの 飲布施 縄文 超大上部 海外等 FORESZIZ 美塚工 山本工部	114		大渡A (蝦夷館)	おおわたりご	城館跡か?	中中	单郭、堀跡		昭和59年度調査			
JFOR2177 同口1 全きぐちいち 散布施 職文 職文上部 JFOR2187 田口1 セきぐちに 散布施 職文上部 職文上部 JFOR2184 上売島川 かみたいしまた 散布施 職文上部 職文上部 JFOR22194 上売島川 かみたいしまた人 散布施 職文上部 職文上部 JFOR22195 原採工 財本上部 職文上部 職文上部 JFOR22196 原採工 中やさからしまた人 散布施 職文上部 JFOR22196 原採工 中やさからん 散布施 職文上部 JFOR22196 原採車 職文 職文上部 JFOR22197 原採車 職文 職文上部 JFOR22198 原採車 職文 職文上部 JFOR2219 原採車 職文 職文上部 JFOR2219 原作権 職文 職文上部 JFOR2219 原作権 職文 職文上部 JFOR22210 原作権 職文 職文上部 JFOR22210 原作権 職文 職文上部 JFOR22210 原作権 職文 職文上部 JFOR2222	115		蝦夷館	えぞだて	城館跡	中中	単郭、堀跡		昭和59年度調査			
POS 2127 四 日本 2 日本 2	116		関口 I	せきぐちいち	散布地	細文	縄文土器	帯島第7地割				
FORE 218 上帯島工	117		11 日 1 日	せきぐちに	散布地	細文	細文上器	带島第7地割				
FOB-2194 上帯島田	118	_		かみたいしまに	散布地	縄文	縄文土器	带島第7地割				
POS 2205 5年前	119			かみたいしまさん	散布地	縄文	縄文土器	帯島第7地割				
FORE-2269 発来目 いやさかいもち 散布地 縄文 縄文上器 FORE-2278 郊菜田 いやさかさん 散布地 縄文上器 FORE-2278 郊菜田 いやさかさん 散布地 縄文上器 FORE-2278 郊菜田 いやさかさん 散布地 縄文上器 FORE-2278 砂菜田 いやさかさん 散布地 縄文上器 FORE-2278 砂菜畑 いやさかななな 散布地 縄文上器 FORE-2278 砂菜畑 いやさかはち 散布地 縄文上器 FORE-2278 砂菜畑 いやさかはち 散布地 縄文上器 FORE-2278 砂菜畑 いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 FORE-2279 砂菜水 いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 FORE-2279 砂菜水 いやさかじゅういち 散布地 縄文 縄文上器 FORE-2279 砂菜水 いやさかじゅういち 散布地 縄文 縄文上器 FORE-2279 砂菜水 地文・おのものものものものものものものものものもののののののののののののののののの	120	_		かみたいしまよん	散布地	細文	細文上器	带島第7地割				
FOB 2287 第余田 いやさかさん 能布施 縄文上器 FOB 2290 第余日 いやさかよん 散布施 縄文上器 FOB 2301 第余日 いやさかよん 散布施 縄文上器 FOB 2302 第余日 いやさかなるの 散布施 縄文上器 FOB 2302 8余日 いやさかなるの 散布施 縄文上器 FOB 2302 8余日 いやさかなるのをの 散布施 縄文上器 FOB 2303 8余区 いやさかじゅう 散布施 縄文上器 FOB 2307 8余区 いやさかじゅういち 散布施 縄文上器 FOB 2307 8余区 いやさかじゅういち 散布施 縄文上器 FOB 108 2307 8余区 株本上器 横文上器 FOB 108 2307 8余区 横文上器 横文上器 FOB 108 2307 8余区 横文上器 横文上器 FOB 108 2307 8余原 縄文上器 編文上器 FOB 108 2307 8余原 縄文上器 横文上器 FOB 2307 8余原 縄文上器 編文上器 FOB 2407 8本海 織文 編文上器 FOB 2407 <t< td=""><td>121</td><td></td><td>弥栄 I</td><td>いやさかいち</td><td>散布地</td><td>縄文</td><td>縄文土器</td><td>弥栄</td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	121		弥栄 I	いやさかいち	散布地	縄文	縄文土器	弥栄				
FOB 2308 弥栄V いやさかよん 脓布地 離文上器 FOB 2301 弥栄V いやさかさん 脓布地 離文上器 FOB 2304 弥栄V いやさかろく 脓布地 離文 FOB 2308 弥栄V いやさかなな 脓布地 離文 FOB 2308 弥栄V いやさかなな 脓布地 離文 FOB 2307 弥栄V いやさかじゅういち 脓布地 離文 FOB 2307 弥栄X いやさかじゅういち 脓布地 離文 FOB 2308 弥栄X いやさかじゅういち 脓布地 離文 FOB 2309 弥栄X いやさかじゅういち 脓布地 離文 FOB 2001 茨柴森 おようづかもりまん 脓布地 離文 FOB 2001 茨米I いやさかじゅうに 豚布地 離文 FOB 2001 茨米I おようづかもりまん 豚布地 離文上器 FOB 2001 茨米I かくさかに 豚布地 瀬文上器 FOB 2001 茨米I かくさかに 豚布地 瀬文上器 FOB 2001 茨米I かくさかに 豚布地 瀬文上器 FOB 2001 砂	122	_	弥栄皿	いやさかさん	散布地	縄文		弥栄				
JF08-2304 弥栄V いやさかこ 散布地 縄文上器 JF08-2304 弥栄V いやさかろく 散布地 縄文上器 JF08-2304 弥栄VI いやさかもりこ 散布地 縄文上器 JF08-2302 弥栄VI いやさかなか 散布地 縄文上器 JF08-2303 弥栄VI いやさかじゅう 散布地 縄文上器 JF08-2307 弥栄X いやさかじゅう 散布地 縄文上器 JF08-2307 弥栄X いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 JF08-2307 弥栄X いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 JF08-2307 弥栄XI いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 JF08-1022 長坂篠田 ちょうづかもりさん 散布地 縄文上器 JF09-1021 長坂篠田 カスタブさかもりさん 散布地 縄文 縄文上器 JF17-0140 上水沢W かみみずさわな 散布地 縄文 縄文上器 JF17-0218 下水沢W 散布地 縄文 縄文上器 JF17-0218 下水沢W かみよざさかち 大田 JF17-0218 赤尾城田 新文 織文上器	123		弥柒IV	いやさかよん	散布地	縄文	縄文土器	帯島第7地割				
FD08-238 弥楽切 いやさかろく 散布地 和文士器 JF08-238 長塚森I ちょうづかもりに 散布地 細文工器 細文工器 JF08-238 筠梁塚II いやさかなな 散布地 細文工器 細文工器 JF08-237 弥梁W いやさかじゅう 散布地 細文工器 細文工器 JF08-237 弥梁X いやさかじゅういち 散布地 細文工器 細文工器 JF08-237 弥梁XI いやさかじゅういち 散布地 細文工器 細文工器 JF08-237 弥梁XI いやさかじゅういち 散布地 細文工器 細交工器 JF09-102 長塚森II いやさかじゅうにな 散布地 細文工器 細文工器 JF09-103 長塚森II いやさかに 散布地 細文工器 細文工器 JF09-104 上水沢II かみみずさかなな 散布地 細文工器 細文工器 JF17-0140 上水沢II かみみずさかな 数本地 細文 細文工器 JF17-0248 金川路II かなまがいち 本本 細文 細文工器 JF17-0248 金川路II かなまがいち 本本 本本 本本 J	124	_	弥栄V	いやさかご	散布地	細文	縄文土器	帯島第7地割				
FO8-2322 純菜森II ちょうづかもりに 散布地 縄文工器 縄文工器 JFO8-2322 弥栄団 いやさかなな 散布地 縄文工器 JFO8-2323 弥栄団 いやさかはち 散布地 縄文工器 JFO8-2357 弥栄区 いやさかじゅういち 散布地 縄文工器 JFO8-2371 弥栄X いやさかじゅういち 散布地 縄文工器 JFO8-2373 弥栄XI いやさかじゅういち 散布地 縄文工器 JFO8-2370 赤栄XI いやさかじゅういち 散布地 縄文工器 JFO8-2371 長坂森II いやさかじゅういち 散布地 縄文工器 JFO9-1051 長坂森II いやさかしゅうに 散布地 縄文工器 JFO9-1051 長坂森II かみずさわなな 散布地 縄文工器 JFI7-0140 上水沢町 かみずさわなな 散布地 縄文工器 JFI7-0218 下水沢町 しるみずさわた 散布地 縄文工器 JFI7-0218 全側部 編文 縄文工器 JFI7-0218 全側部 編文工器 編文工器 JFI7-0218 金崎雄II 新工 小みみずさわなな JFI7-0218	125		弥栄切	いやさかろく	散布地	縄文	縄文土器	带島第7地割				
JP08-2352 弥栄価 地文さかなな 散布地 縄文上器 JF08-2353 弥栄価 いやさかはち 散布地 縄文上器 JF08-2357 弥栄区 いやさかじゅう 散布地 縄文上器 JF08-2373 弥栄X いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 JF08-2373 弥栄X I いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 JF08-2373 弥栄X I いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 JF09-1052 長塚森II ちょうづかもりさん 散布地 縄文 稲文上器 JF09-1051 長塚森II いやさかに 散布地 縄文上器 JF07-0161 上水沢面 かみみずさわなな 散布地 縄文上器 JF17-0140 上水沢面 かみみずさわなな 散布地 縄文上器 JF17-0218 下水沢面 かみみずさわなな 散布地 縄文上器 JF17-0286 全側部 海次 編文上器 JF17-0286 金側部 海文 編文上器 MATH 新文 本次子のからいた MATH 地交 本本	126	_	長塚森丑	ちょうづかもりに	散布地	縄文	(後期)、	阿子木第 12 地割				
FP08-2353 弥栄価 桃文吉部 桃木地 縄文上器 FP08-2357 弥栄水 いやさかきゅう 散布地 縄文上器 FP08-2371 弥栄X いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 FP08-2373 弥栄X いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 FP08-2373 弥栄X いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 FP09-1021 長塚森田 まようづかもりさん 散布地 縄文上器 FP09-1051 長塚森田 ちょうづかもりまん 散布地 縄文上器 FP09-1051 上水沢町 かみずさわなな 散布地 縄文上器 FP17-0140 上水沢町 かみずさわなな 散布地 縄文上器 FP17-0218 下水沢町 いやさかに 散布地 縄文上器 FP17-0218 下水沢町 いみみずさわなな 散布地 縄文上器 FP17-0218 下水沢町 かなまぶいち 新本 編文上器 FP17-0229 全側部 海文 編文上器 FP17-0236 全側部 海次 編文上器 FP17-0236 金剛 海次 編文上器	127		弥栄如	いやさかなな	散布地	縄文		弥栄				
IPO8-2371 弥栄X いやさかきゅう 散布地 縄文上器 IPO8-2371 弥栄X いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 IPO8-2373 弥栄X I いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 IFO8-2380 弥栄X I いやさかじゅういち 散布地 縄文上器 IFO9-1022 長塚森I ちょうづかもりさん 散布地 縄文上器 IFO9-1051 長塚森I ちょうづかもりさん 散布地 縄文上器 IFO9-1051 長塚森I かみみずさわなな 散布地 縄文上器 IFI7-0218 下水沢II しもみずさわな 散布地 縄文上器 IFI7-0218 下水沢II しもみずさわな 散布地 縄文上器 IFI7-0218 下水沢II かなまぶいち 製練関連 浦文 編文上器 IFI7-0286 金川部1 かなまぶいち 新版 編集 新文	128		弥栄VII	いやさかはち	散布地	縄文		弥栄				
JP08-2373 弥栄X いやさかじゅういち 散布地 縄文士器 JF08-2373 弥栄X I いやさかじゅういち 散布地 縄文土器 JF08-2373 弥栄X I いやさかじゅういち 散布地 縄文工器 JF09-1022 長塚森II ちょうづかもりさん 散布地 縄文工器 JF09-1051 長塚森IV ちょうづかもりよん 散布地 縄文工器 JF0-207 弥栄II かなみずさわなな 散布地 縄文工器 JF17-0140 上水沢II かみみずさわなな 散布地 縄文工器 JF17-0218 下水沢II しもみずさわい 散布地 縄文工器 JF17-0286 金川部1 かなまぶいち 製作関 縄文工器	129		弥桊IX	いやさかきゅう	散布地	縄文	縄文土器	弥栄				
JPO8-2373 弥栄X I いやさかじゅういち 散布地 縄文 縄文上器 JFO8-2380 弥栄X II いやさかじゅうに 散布地 縄文 縄文上器 JFO9-1022 長塚森田 ちょうづかもりさん 散布地 縄文 稲文上器 JFO9-1051 長塚森I ちょうづかもりさん 散布地 縄文上器 JFO9-2071 弥栄I かみずさわなな 散布地 縄文上器 JF17-0140 上水沢II しもみずさわな 散布地 縄文上器 JF17-0218 下水沢II しもみずさわに 散布地 縄文上器 JF17-0218 下水沢II かなまぶいち 製練関連 近井 JF17-0286 金川部1 かなまぶいち 製練関連 近井	130		弥栄X	いやさかじゅう	散布地	縄文	縄文土器	弥栄				
IPO8-2380 弥栄XII いやさかじゅうに 散布地 縄文 縄文上器 IPO9-1022 長塚森II ちょうづかもりさん 散布地 縄文 石鏃 IPO9-1051 長塚森IV ちょうづかもりよん 散布地 縄文 縄文上器 IPO9-2071 弥采II いやさかに 散布地 縄文 縄文上器 IPI7-0218 下水沢II 七名みずさわた 散布地 縄文 縄文上器 IPI7-0218 下水沢II しもみずさわた 散布地 縄文 縄文上器 IPI7-0218 小公主ぶいち 製鉄関連 近田 横次 織文上器	131	_	弥栄X I	いやさかじゅういち	散布地	縄文		弥栄				
JF09-1022 長塚森田 ちょうづかもりさん 散布地 縄文 石鏃 JF09-1051 長塚森IV ちょうづかもりよん 散布地 縄文土器 JF09-2071 弥栄II いやさかに 散布地 縄文土器 JF17-0140 上水沢町 かみずさわなな 散布地 縄文土器 JF17-0218 下水沢II しもみずさわに 散布地 縄文土器 JF17-0218 下水沢II かなまぶいち 製練関連 近井 棚の辺口、鉄藻	132		弥栄XⅡ	いやさかじゅうに	散布地	縄文	縄文土器	带島第7地割				
IP09-1051 長塚森IV ちょうづかもりよん 散布地 縄文 縄文土器 IP09-2071 弥栄I いやさかに 散布地 縄文 縄文土器 IP17-0140 上水沢II かみみずさわなな 散布地 縄文 縄文土器 IP17-0218 下水沢II しもみずさわに 散布地 縄文土器 IP17-0218 下水沢II かなまぶいち 製鉄関連 活出 IP17-0256 金間部I かなまぶいち 製鉄関連 活出	133	_	長塚森皿	ちょうづかもりさん	散布地	縄文	石鏃	阿子木第 12 地割				
JP09-2071 晩栄Ⅱ いやさかに 散布地 縄文上器 JF17-0140 上水沢町 かみみずさわなな 散布地 縄文上器(後期) JF17-0218 下水沢Ⅱ しもみずさわた 散布地 縄文上器 JF17-0296 金間部1 かなまぶいち 製練関連 沂田 鞴の辺口、鉄楽	134		長塚森Ⅳ	ちょうづかもりよん	散布地	縄文	縄文土器	阿子木第 12 地割				
JPI70140 上水沢町 かみみずきわなな 散布地 縄文 縄文上器(後期) JPI70218 下水沢丁 しもみずきわた 散布地 縄文上器 IPI70296 金間部1 かなまぶいち 製鉄関連 沂田 鞴の刃口、鉄藻	135		弥栄工	いやさかに	散布地	縄文	縄文土器	帯島第7地割				
JF17-0218 下水沢II しもみずさわに 散布地 縄文土器 IF17-0236 金間部1 かなまぶいち 製鉄関連 近世 鎌空切口、鉄道	136			かみみずさわなな	散布地	縄文		水沢第3地割				
	137		-	しもみずさわに	散布地	縄文	縄文土器	水沢第9地割				
	138	JF17-0296	金間部1	かなまぶいち	製鉄関連	拉世	鞴の羽口、鉄滓	水沢第12 地割				

No.	通路コード	遺跡名	よみがな	種別	時代	遺 構 · 遺 物	所在地	調査経歴	編巻	文献
139	JF17-0297	金間部Ⅱ	かなまぶに	散布地	縄文、古代、 近世	縄文土器、土師器、寛永通宝	水沢第12 地割			
140	JF17-0337	大渡Ⅰ	おおわたりいち	散布地	縄文	縄文土器	水沢第10地割			
141	JF17-0339	大渡卫	おおわたりに	散布地	縄文	縄文土器	水沢第10地割			
142	JF17-1022	生平 I	おいたいらいち	散布地	縄文	縄文土器	水沢第2地割			
143	JF17-1024	生平工	おいたいらに	散布地	縄文	縄文上器	水沢第2地割			
144	JF17-2003	青茶畑口	あおなはたに	散布地	縄文	縄文土器(後期)	水沢第14地割			
145	JF17-2027	青菜畑	あおなはた	散布地	縄文	縄文土器、石器	水沢第13地割			
146	JF18-0002	大渡田	おおわたりさん	散布地	縄文	縄文上器	带島第2地割			
147	JF18-0103	带鳥開拓地I	たいしまかいたくちいち	散布地	縄文	縄文土器	带島第7地割			
148	JF18-0108	带鳥開拓地工	たいしまかいたくちに	散布地	縄文	縄文上器	路米			
149	JF18-0116	带鳥開拓地皿	たいしまかいたくちさん	散布地	縄文	縄文上器	带島第7地割			
150	JF18-1052	太田	おおた	散布地	縄文	縄文土器	水沢第 11 地割			
151	IF37-1367	I中事	たいなかやまいち	散布地	縄文	石斧	種市第41 地割		平成23年度新規発見	*
152	IF38-1042	工口中事	たいなかやまに	散布地	縄文	縄文土器、礫器	種市第41 地割		平成23年度新規発見	**
153	IF38-2001	角川目正	かどかわめに	散布地	縄文	縄文上器	種市第39地割		平成23年度新規発見	**
154	IF37-2343	1 響/田	たのはたいち	散布地	縄文	縄文土器(後期)	種市第 42 地割		平成23年度新規発見	**
155	IF37-2356	笹花 I	ささはないち	散布地	縄文	縄文上器	種市第43地割		平成23年度新規発見	**
156	IF38-2053	笹花工	なさはない	散布地	縄文	縄文土器(後期)	種市第43地割		平成23年度新規発見	*
157	IF37-2379	笹花皿	ささはなさん	散布地	縄文	縄文上器	種市第43 地割		平成23年度新規発見	*
158	IF37-2397	笹花IV	ささはなよん	散布地	縄文	縄文土器、石斧、敲石、礫器	種市第43地割		平成23年度新規発見	*
159	IF37-2392	伝告Ⅱ	でんきちに	集落跡、 狩猟場跡	細文	竪穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構、縄文土器 (前期・後期)、石器	種市第43 地割	令和元年度本発掘調査	平成23年度新規発見	* * 4 * 32
160	IF47-0239	伝吉皿	でんきちさん	散布地	縄文	縄文土器	種市第44地割		平成23年度新規発見	*
161	IF47-0238	伝吉Ⅳ	でんきちよん	製鉄関連	不明	鉄淬	種市第44地割		平成23年度新規発見	* 4
162	IF47-0216	伝吉V	でんきちご	製鉄関連	不明	鉄淬	種市第44地割		平成23年度新規発見	* 4
163	IF47-0345	北ノ沢I	きたのさわいち	散布地	細文	縄文土器 (中期)、石鏃、削掻器、石斧、蔽石、 剥片	種市第45 地割	平成 29 年度本発掘調査	平成23年度新規発見、範囲変更(平成25年度)	*
164	IF47-0333	北ノ沢エ	きたのさわに	散布地	縄文、古代	縄文土器、土師器	種市第45地割		平成23年度新規発見	* 4
165	IF47-0258	北ノ沢皿	きたのさわさん	散布地	縄文	縄文土器	種市第45地割		平成23年度新規発見	* 4
166	166 IF47-0390	北ノ沢Ⅳ	きたのさわよん	散布地	縄文、古代	縄文土器(前期)、土師器	種市第45地割		平成23年度新規発見	*
					無	表 町内の遺跡一覧(6)				

- 15 -

第1表 町内の遺跡一覧(7)

ボーロ結準		よみがな	種別	時 代	4 · 排 · 排 · 排 · 排 · 排 · 排 · 排 · 排 · 排 ·	所在批	調杏経歴	一	文献
IF47-0344	北ノ沢V	きたのさわご	172	不明	鉄淬	種市第45地割		平成23年度新規発見	* 4
IF47-0341	北ノ沢W	きたのさわろく	製鉄関連	不明	鉄滓	種市第45地割		平成23年度新規発見	* 4
IF47-0257	北ノ沢垭	きたのさわなな	製鉄関連	不明	鉄淬	種市第45地割		平成23年度新規発見	* 4
IF47-0299	北ノ沢VII	きたのさわはち	製鉄関連	不明	鉄淬	種市第45地割		平成23年度新規発見	* 4
IF47-1250	北ノ沢欧	きたのさわきゅう	製鉄関連	不明	鉄淬	種市第45地割		平成23年度新規発見	* 4
IF47-1138	北ノ沢X	きたのさわじゅう	製鉄関連	不明	鉄滓	種市第 45 地割		平成23年度新規発見	* 4
IF38-2192	北平内 I	きたひらないいち	散布地	縄文	縄文土器、石斧、礫器	種市第38地割		平成23年度新規発見	*
IF48-0127	北平内正	きたひらないに	散布地	縄文、古代	縄文土器、土師器	種市第38地割		平成23年度新規発見	*
IF48-0123	北平内皿	きたひらないさん	散布地	離文	縄文土器	種市第38地割		平成23年度新規発見	*
IF48-0121	北平内IV	きたひらないよん	散布地	離文	縄文土器(後期)、剥片	種市第38地割		平成23年度新規発見	*
IF48-0110	北平内V	きたひらないご	散布地	縄文、弥生	縄文土器(後・晩期)、縄文晩期後葉~弥生前期 の土器	種市第 38 地割		平成23年度新規発見	* 4
IF48-0143	北平内如	きたひらないろく	散布地	縄文	縄文土器、石斧、敲石	種市第38地割		平成23年度新規発見	* 4
IF48-0158	浜平内	はまひらない	散布地	縄文	縄文土器(早・晩期)、石斧、敲石	種市第36地割		平成23年度新規発見	% 4
IF48-0174	平内W	ひらないよん	散布地	縄文、古代	縄文土器(前期)、石斧、敲石、土師器、須恵器	種市第35地割		平成23年度新規発見	* 4
IF48-0197	平内V	ひらないご	散布地	縄文	縄文土器(前期)、石斧、礫器	種市第35地割		平成23年度新規発見	* 4
IF48-1200	南平内 I	みなみひらないいち	散布地	縄文	縄文土器(晩期)、製塩土器	種市第33地割		平成23年度新規発見	* 4
IF48-1119	南平内亚	みなみひらないに	散布地	縄文	縄文土器、剥片石器	種市第32地割		平成23年度新規発見	% 4
F48-1126	南平内皿	みなみひらないさん	散布地	縄文	縄文土器、剥片	種市第32地割		平成23年度新規発見	% 4
IF48-0041	西平内工	にしひらないいち	集落跡、 狩猟場跡	縄文、弥生	整穴住居跡、竪穴状遺構、捆立柱建物跡、陷し 穴状遺構、土坑、燒土遺構、炉跡、埋設土器、 柱穴、配石遺構、集石遺構、整地層、縄文土器 (早·前・後期)、弥生土器(後期)、石器、土製 品、石製品、環状列石	種市第37 地割	平成 26 年度・27 年度 本発掘調査、平成 28 年度ハンドボーリング調 査、令和元年度トレン チ調査	平成23 年度新規発見、範囲変更(平成29 年度)	** 4 ** 8 ** 12 ** 18 ** 29
IF48-1040	西平内亚	にしひらないに	散布地	縄文	縄文土器(前期)、石器	種市第37 地割		平成23年度新規発見	* 4
F48-1115	東平内I	ひがしひらないいち	散布地	縄文	縄文土器、石斧、敲石、礫器、剥片	種市第34地割		平成23年度新規発見	% 4
IF48-1039	東平内亚	ひがしひらないに	散布地	縄文	縄文土器	種市第34地割		平成23年度新規発見	% 4
IF48-1080	東平内皿	ひがしひらないさん	製鉄関連	不明	羽口、鉄滓	種市第34地割		平成23年度新規発見	* 4
IF47-1390	旋 沢 I	うばさわいち	散布地	縄文	縄文土器(後期)、石鏃、石斧、剥片	種市第 47 地割		平成23年度新規発見	* 4
IF47-1288	姥沢丑	うばさわに	散布地	縄文、古代	縄文土器、石斧、土師器	種市第 47 地割		平成23年度新規発見	*

第1表 町内の遺跡一覧(8)

文献	*	**	* 4.7 * 1.4	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	* 15	* 25			* 23	* 26		* 17	∞ **	* * 8 * 11	* * 8 * 21			* 31	* 24
垂	平成23年度新規発見	平成23年度新規発見	平成25年度新規発見	平成25年度新規発見	平成25年度新規発見	平成25年度新规発見	平成25年度新規発見、範囲変更(平成29年度)	平成25年度新規発見	平成25年度新規発見、名称変更(令和元年度)	平成25年度新规発見	平成25年度新規発見、名称変更(令和元年度)	平成25年度新規発見	平成26年度新規発見	平成26年度新規発見	平成26年度新规発見	製鉄関連は時代不明、平成 27 年度新規発見	平成27年度新規発見、名称変更(令和元年度)	平成25年度新規発見	平成28年度新規発見
調査経歴			平成26年度·28年度 本発掘調査	平成27年度·28年度 本発掘調査	平成27年度·28年度 本発掘調査	平成 29 年度本発掘調査	平成29年度本発掘調査	平成29年度·30年度 本発掘調査	平成28年度本発掘調査	平成 29 年度本発掘調査	平成 26 年度本発掘調査	平成29年度本発掘調査	平成26年度本発掘調査	平成 26 年度・27 年度 本発掘調査	平成 26 年度・27 年度・ 29 年度本発掘調査		平成29年度本発掘調査	平成 29 年度・30 年度 本発掘調査	平成29年度本発掘調査
所在地	種市第 47 地割	種市第 47 地割	種市第28 地割	種市第25地割	種市第18地割	種市第15 地割	種市第15地割	種市第6地割	種市第3地割	種市第1地割	中野第1地割	中野第1地割	有家第9地割	種市第25 地割	種市第 16・17 地割	種市第53 地割	種市第14地割	種市第 42 地割	種市第20地割
道権・遺物	縄文士器 (前・後期)、削掻器、石斧、剥片、古 銭	縄文土器 (中期)、削掻器、ピエスエスキーユ、 剥片	竪穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構、焼土、墓壙、 縄文土器、石器	竪穴住居跡、陥し穴状遺構、土坑、燒土遺構、 縄文上器、石器、緯形土製品	竪穴住居跡、陥し穴状遺構、土坑、焼土、縄文 土器、石器	竪穴住居跡 (縄文・奈良)、土坑、陥し穴状遺構、柱穴、遺物集中部、溝跡、縄文土器、石器、土製品、石製品、石製品、土師器	縄文土器、石器	縄文土器、製塩土器、石器	竪穴住居跡、土坑、柱穴、縄文土器、石器	陌七穴状遗構、土坑、孳生産遺構、廃漆場、製炭遺構、網文土器、石器、土師器、短刀、鉄滓、羽口、炉壁、砥石	陥し穴状遺構、土坑、縄文土器、弥生土器、石 器	陥し穴状遺構、土坑、土器、石器	陥した状遺構	整穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構、土師器、石 器	竪穴住居跡 (縄文・7 C)、陥し穴状造構、土坑、 焼土造構、溝状造構、縄文土器、土師器、土製 品、石器、石製品、銭賃	製塩土器(古代)、鉄滓	縄文土器	整穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構、柱穴、縄文 土器、縄文石器	陥した状遺標、フラスコ状土坑、土坑、溝跡、 土器、石器、動物遺存体(近世~現代)
專	縄文	編文	編文	繼文	繼文	縄文、奈良、 不明	縄文、弥生	縄文	縄文	縄文、古代、 中世	縄文、弥生	縄文	縄文	縄文、古代	縄文、古墳	古代、製鉄閥 連	縄文、近代	縄文	編文
種別	散布地	散布地	集落跡、 狩猟場跡	集落跡、狩猟場跡	集落跡、 狩猟場跡	集落跡、狩猟場跡	集落跡	集落跡	集落跡	製鉄関連、 狩猟場跡	狩猟場跡	狩猟場跡	狩猟場跡	集落跡、 狩猟場跡	集落跡、狩猟場跡	散布地、 製鉄関連	集落跡	集落跡	集落跡、その他
よみがな	ンばなわなん	うばさわよん	みなみかわしり	さんにやいち	きたかぬか	かぬかはまに	かぬかはまいち	\@\@\ \@\@\	こだのさわいち	444 2444 300	しもむかいいち	なかのじょうない	くろさか	なんにやに	みなみかぬかいち	たての	きたたまがわいち	たのはたに	あらつない
遺跡名	姥沢皿	¢ 沢 IV	南川尻	I キニハキ	北鹿糠	度糠浜工	鹿糠浜 I	宿戸	小田ノ沢 I	南八木	下向 I	中野城内	黒坂	Π 4 二 < 4	南鹿糠I	縮野	北玉川I	工業/田	荒津内
メーロ 指顎	IF47-1360	IF47-1342	IF48-1197	IF48-2128	IF58-0288	IF58-1354	IF58-1399	IF69-1199	IF69-2273	IF79-1217	IF89-1394	IF89-2323	IF89-1322	IF48-2231	IF58-1333	IF57-0174	IF59-2021	IF37-2343	IF 58-0245
No.	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210

Ž										
	遺跡コード	遺跡名	よみがな	種別	平	道 辑 · 遺 物	<u></u> 外在地	調査経歴	重	対戦
211	IF67-2355	松ヶ沢I	まつがさわいち	散布地	縄文	土器、石器	種市第73 地割		平成28年度新規発見	
212	IF58-2312	腹糠浜皿	かぬかはまさん	散布地	縄文	陥し穴状遺構	種市第15地割		平成28年度新規発見	
213	IF79-0012	紫石	J03<01	集落跡、 狩猟場跡	縄文、古代	竪穴住居跡、溝状土坑、土坑、柱格不明遺構、 縄文土器(早·後期)、土製品、石器、製塩土器、 土製支脚	種市第4地割	令和元年度本発掘調査	平成29年度新規発見、範囲変更(令和元年度)	% 50 **
214	IF86-2265	新田	しんでん	製鉄関連	近世	鉄淬	大野第14地割		平成29年度新規発見	
215	IF85-2335	一本松向 I	いっぽんまつむかいいち	散布地、 製鉄関連	縄文、古代、 近世	縄文土器、土師器、鉄滓	大野第15地割		製鉄関連は時代不明、平成 29 年度新規発見	
216	IF86-2053	一本松向正	いっぽんまつむかいに	散布地、 製鉄関連	縄文、近世	縄文土器、鉄滓	大野第15地割		製鉄関連は時代不明、平成 29 年度新規発見	
217	IF58-1170	板橋I	いたばしいち	狩猟場跡	縄文	陥し穴状遺構	種市第21地割		平成29年度新規発見、名称変更(令和元年度)	
218	IF48-2250	田キーハキ	マンド やっとん	狩猟場跡	編文	陷し穴状土坑、土坑、燒土遺構、炭窯、縄文土器、 石器、弥生土器、近世陶磁器	種市第25 地割	平成28年度~30年度 本発掘調査		* 14 * 30
219	IF67-2265	松ヶ沢皿	まつがさわに	製鉄関連	不明	鉄淬	種市第74 地割		平成29年度新規発見	
220	IF99-0251	下向丑	しもむかいに	狩猟場跡	縄文	溝状土坑、土坑	中野第1地割	令和元年度本発掘調査	平成30年度新規発見、範囲変更(令和元年度)	% I9
221	IF58-0234	板橋工	いたばしに	集落跡	縄文	整穴住居跡、陥し穴状遠構、土坑、縄文土器(草 創期、後期)、土製品、石器、石製品、陶磁器	種市第21地割	平成30年度·令和元年 度本発掘調査	平成30年度新規発見	
222	IF99-0384	尺沢	しゃくがち	狩猟場跡、 散布地	旧石器、縄文、 弥生	溝状土坑、土坑、ピット、縄文土器(早・後期)、 弥生土器、石器、剥片	中野第7地割	令和元年度本発掘調査	令和元年度新規発見	% %
223	IF68-0395	1 旧王嵐	みなみたまがわいち	狩猟場跡	縄文	溝状土坑、土坑、ピット	種市第11地割	令和元年度本発掘調査	令和元年度新規発見	* 27
224	IF68-0306	南玉川工	みなみたまがわに	狩猟場跡、 散布地	縄文、弥生	溝状土坑、土坑、不明遺構、縄文土器、弥生土器、 石器	種市第11地割		令和元年度新規発見	
225	IF68-1386	西戸類家 I	にしへるけいち	散布地	縄文、弥生	土坑、縄文土器、弥生土器	種市第 10 地割		令和元年度新規発見	
226	IF68-2394	馬場正	1414.	狩猟場跡	縄文	溝状土坑、土坑、不明遺構、縄文土器	種市第7地割		令和元年度新規発見	
227	IF68-1045	南玉川正	みなみたまがわさん	集落跡	奈良·平安	竪穴住居跡、木炭窯跡、土師器	種市第 11 地割		令和元年度新規発見	
228	IF78-1351	小田ノ沢エ	こだのさわに	狩猟場跡	縄文	溝状土坑、縄文土器	種市第3地割	令和元年度本発掘調査	令和元年度新規発見	* 27
229	IF58-1139	板橋皿	いたばしさん	散布地	縄文	溝状土坑、縄文土器、石器	種市第 21 地割		令和元年度新規発見	
230	IF78-2269	長坂Ⅱ	ながさかに	狩猟場跡	縄文	溝状土坑	小子内第7 地割		令和元年度新規発見	
231	IF68-0347	南玉川IV	みなみたまがわよん	散布地	縄文	土坑	種市第11地割		令和元年度新規発見	
232	IF58-2380	北玉川正	きたたまがわに	狩猟場跡	縄文	溝状土坑	種市第14地割		令和元年度新規発見	
233	IF58-0105	板橋Ⅳ	いたばしよん	散布地	縄文	土坑	種市第21地割		令和元年度新規発見	

第1表 町内の遺跡一覧(9)

(女献について、それぞれ次のように略した)

- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 238 集·第 357 1996・2001 『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』 (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
 - 2002 『上水沢 II 遺跡発掘調査報告書』 岩手県久慈地方振興局久慈農村整備事務所(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第391

*

*

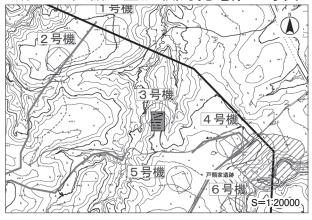
*

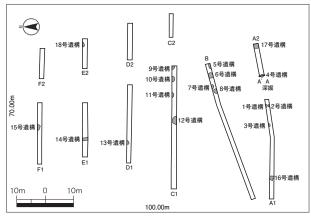
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第661

- 2004 [平内 1 遺跡発掘調査報告書』 種市町埋蔵文化財調査報告書第 1 集 岩手県種市町教育委員会 $\frac{1}{2}$
- 2005 [種市町内遺跡詳細分布調査報告書1』 種市町埋蔵文化財調査報告書第2集 岩手県種市町教育委員会 ** | 4 | 4
- 2013 『平内 II 遺跡発掘調査報告書』 洋野町埋蔵文化財調査報告書第 1 集 岩手県洋野町教育委員会 ~ %
- 洋野町埋蔵文化財調査報告書第2集 2015 『平内 I 遺跡発掘調査報告書』 岩手県洋野町教育委員会 √9 **※**
- ほか調査概報 (39 遺跡)』 八幡沖遺跡 沼袋皿遺跡 2015 『平成 26 年度発掘調査報告書 南川尻遺跡 下向遺跡 沼袋Ⅱ遺跡 岩手県文化振興事業団 7
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第647
 - 復興関係)』岩手県文化財調査報告書第 146 集 平成28年3月『岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成26年度 岩手県教育委員会
 - 房の沢IV遺跡 白石遺跡 ほか調査概報 (33遺跡)] (公財) 岩手県文化振興事業団 2016『平成 27 年度発掘調査報告書 サンニヤ遺跡
- 2017 『ゴッソー遺跡発掘調査報告書』 洋野町埋蔵文化財調査報告書第3集 岩手県洋野町教育委員会 × 10 ☐
- 平成 29 年 3 月『岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成 27 年度 復興関係)』 岩手県文化財調査報告書第 149 集 岩手県教育委員会 <u>*</u> 11
- 『西平内 I 遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 673 集 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所,(公財) 岩手県文化振興事業団 2017 * 12
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第676集 (公財) 岩手県文化振興事業団 2017 『平成 28 年度発掘調査報告書 岩洞湖 I 遺跡 栃洞IV遺跡 八森遺跡 ほか調査概報 (28 遺跡)』 * 13
- 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所,(公財)岩手県文化振興事業団 2018『北鹿糠遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 686 集 岩手県教育委員会 平成 30 年 3 月 『岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成 28 年度 復興関係)』 岩手県文化財調査報告書第 152 集 **%** 14]
- 無 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 2018『サンニヤⅠ遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 687 ***** 15 ***** 16
 - 根井沢穴田Ⅳ遺跡 耳取1遺跡 千厩城遺跡 ほか調査概報(23遺跡)』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 692 (公財) 岩手県文化振興事業団 2018『平成 29 年度発掘調査報告書 岩洞湖 I・H 遺跡 和野新墾神社遺跡 北野XI遺跡 木戸場遺跡 中野城内遺跡 ***** 17
- 2019 『西平内 I 遺跡ハンドボーリング調査報告書』 洋野町埋蔵文化財調査報告書第4集 岩手県洋野町教育委員会 **%** 18
- 2019 『下向 I 遺跡発掘調査報告書』 洋野町埋蔵文化財調査報告書第5集 岩手県洋野町教育委員会 _* 19_
- 2019 [統石遺跡発掘調査報告書』 洋野町埋蔵文化財調査報告書第6集 岩手県洋野町教育委員会
- 2019『南鹿糠1遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 697 集 2019『上のマッカ遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 698 🤅 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所 · (公財) 岩手県文化振興事業団 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 ***** 21] **※** 22 ∫
- 2019『小田ノ沢遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 699 集 2019 [荒津内遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第701 集 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所 · (公財) 岩手県文化振興事業団 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 * 24 ***** 23
- 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 ***** 25
 - 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所,(公財)岩手県文化振興事業団 2019『南八木遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調查報告書第 703 集
 - 岩手県洋野町教育委員会 2020 [南玉川1遺跡・小田ノ沢1遺跡発掘調査報告書』 洋野町埋蔵文化財調査報告書第7集 ***** 27
 - 2020 『尺沢遺跡発掘調査報告書』 洋野町埋蔵文化財調査報告書第8集 久慈広域連合·岩手県洋野町教育委員会 × 28
- 2020 [西平内 I 遺跡発掘調査報告書』 洋野町埋蔵文化財調査報告書第9集 岩手県洋野町教育委員会 × 29
- 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財)岩手県文化振興事業団 2020『サンニヤ皿遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 714 乳 <u>30</u> ₩
 - 2020 [田ノ端Ⅱ遺跡発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 715 集 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・(公財) 岩手県文化振興事業団 **※** 31 ∫
- (公財) 岩手県文化振興事業団 2020 [令和元年度発掘調查報告書 沼里遺跡 根井沢穴田IV遺跡 伝吉II遺跡 岩洞湖 B遺跡 上矢次 I遺跡 米崎城跡 ***** 32
- 寒 ほか調査概報 (10 遺跡)』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 721

IV. 試掘調査結果

≪第1次試掘調査≫ 風力発電第3号機





【所在地】洋野町種市第11地割字南玉川125番3

【現 況】山林、荒蕪地、林道

【標 高】約80m~90m

【調査期間】平成31年4月24日~令和元年5月10日

【対象面積】 7,000㎡ (100m×70m)

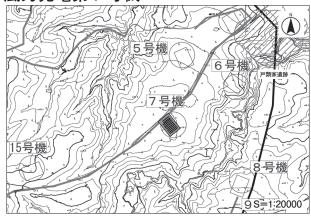
【調査面積】 345㎡

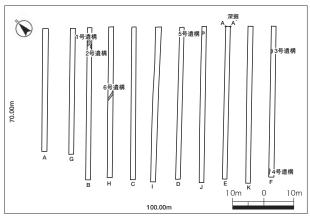
【調査概要】調査地点は、JR八戸線玉川駅から西方へ約1.3kmの段丘上に位置する。北側を東流する和座川に向かって北北東へ伸びる尾根上に立地している。調査地内に切り出し道路を挟んで、幅1.5m、長さ8m~47mのトレンチを11箇所(A1、A2、B、C1、C2、D1、D2、E1、E2、F1、F2)設定した。重機により地山まで掘削して遺構確認を行った。調査の結果、土坑、溝状土坑、不明遺構等18基を検出し、排土から多量の遺物が採集された。遺構及び遺物は、調査地の南側に集中する。

【備 考】新規発見遺跡(南玉川Ⅱ遺跡)

種別:狩猟場跡·散布地 時代:縄文時代、弥生時代

風力発電第7号機





【所在地】洋野町種市第11地割字南玉川93番2

【現 況】山林

【標 高】約 120m

【調査期間】 平成 31 年 4 月 22 日~ 4 月 24 日、

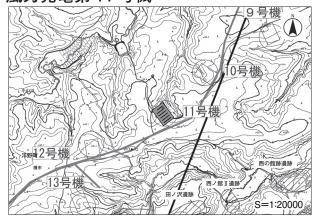
令和元年 6 月 18 日~ 6 月 21 日 【対象面積】 7,000㎡ (100m × 70m)

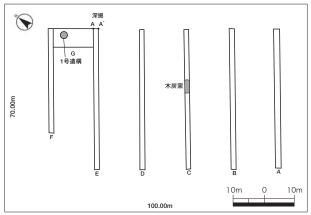
【調査面積】435㎡+369㎡(追加トレンチ)=804㎡ 【調査概要】調査地点は、JR八戸線宿戸駅から西方へ約2.3kmの小山川左岸の段丘上に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ40m~50mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。その結果、Bトレンチから土坑、溝状土坑、Fトレンチから不明遺構が検出された。その後、より詳細な情報を得るため、新たにトレンチ間に5箇所(G、H、I、J、K)設定して追加調査を行った。その結果、H・Jトレンチから溝状土坑及び不明遺構とみられるものが検出された。遺物は確認されなかった。

【備 考】新規発見遺跡(南玉川 I 遺跡)

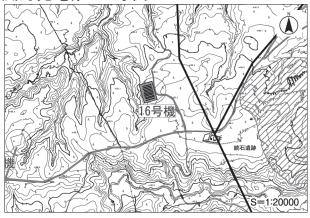
種別:狩猟場跡時代:縄文時代

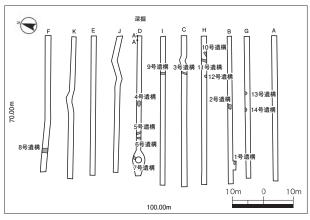
風力発電第 11 号機





風力発電第 16 号機





【所在地】洋野町種市第10地割字西戸類家96番4

【現 況】山林 【標 高】120m~130m

【調査期間】令和元年5月20日~5月23日

【対象面積】 7,000㎡ (100m×70m)

【調査面積】 398㎡+ 78㎡(間拡張部分) = 476㎡

【調査概要】調査地点は、JR八戸線宿戸駅から西方へ約2.2kmの小山川と土釜川に挟まれた段丘頂部付近に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ35m~46mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。調査前の踏査で、調査地北側から土器片数点を表採したことから、遺構等の検出が想定されたが確認されなかった。しかし、調査地北側のE・Fトレンチ排土から数十点の土器片が採集されたことから、E・Fトレンチ間に新たにGトレンチ(6m×13m)を設定した。その結果、数点の遺物と1号遺構が確認された。また、Cトレンチから、近・現代のものと思われる木炭窯跡が1基検出された。

【備 考】新規発見遺跡(西戸類家 I 遺跡)

種別:散布地

時代:縄文時代、弥生時代

【所在地】洋野町種市第7地割字馬場136番1

【現 況】山林

【標 高】150m~160m

【調査期間】 令和元年 5 月 16 日~ 5 月 20 日、 同年 6 月 13 日~ 6 月 14 日

【対象面積】 7,000㎡ (100m×70m)

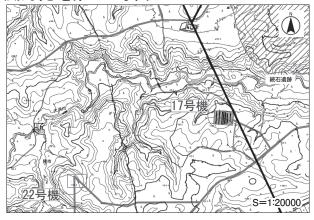
【調査面積】 437㎡+ 356㎡ (追加トレンチ) = 793㎡

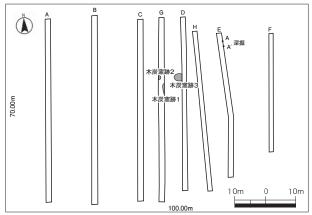
【調査概要】調査地点は、JR八戸線宿戸駅から南西へ約2.8kmの土釜川と大浜川に挟まれた段丘頂部付近に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ約50mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。調査の結果、遺物は出土しなかったが8基の遺構が検出された。本調査の必要性があると判断され、より詳細な情報を得るため、それぞれのトレンチ間に5箇所(G、H、I、J、K)設定して追加調査を行った。新たに6基、合計14基の遺構が検出された。

【備 考】新規発見遺跡(馬場Ⅱ遺跡)

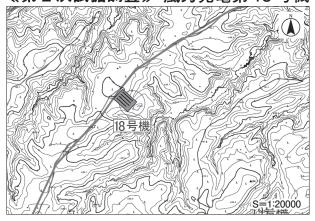
種別:狩猟場跡時代:縄文時代

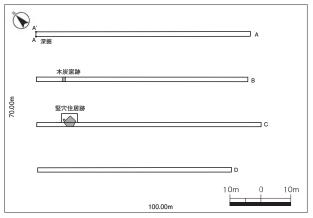
風力発電第 17 号機





≪第2次試掘調査≫ 風力発電第 18 号機





【所在地】洋野町種市第3地割字小田沢78番1、2 【現 況】山林 【標 高】150m~160m

【調査期間】 平成 31 年 4 月 24 日~令和元年 5 月 10 日 【対象面積】 7,000㎡(100m × 70m)

【調査面積】 483㎡ + 175.5㎡ (追加) = 658.5㎡

【調査概要】調査地点は、JR八戸線陸中八木駅から西へ約3.6kmの大浜川右岸の段丘端部に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ40m~50mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。Aトレンチから比高差約10mから数10cm~最大長約2mの配石・集積状の礫群が出土した。松山力氏(日本地質学会会員)のご教示により、自然崩落との見解を頂いた。また、Dトレンチから30cm大の礫を伴う円形の黒色プランが検出し、詳細な情報を得るために、Dトレンチ両脇に2本(G・H)のトレンチを追加設定した。円形の黒色染み状遺構が2基検出されたが、トレンチ内の土層観察や周辺の状況から樹木痕と判断した。Gトレンチから近・現代のものと考えられる木炭窯跡が3基検出されたが、その他の遺構・遺物は確認されなかった。

【所在地】洋野町種市第11地割字南玉川147番

【現 況】山林

【標 高】約 166m ~ 176m

【調査期間】 令和元年8月19日~8月23日

【対象面積】 7,000㎡ (100m × 70m)

【調査面積】 417㎡ + 15㎡ (C トレンチ拡張部分)

 $= 432 \text{m}^2$

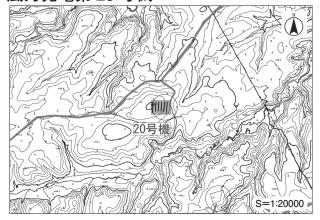
【調査概要】調査地点は、JR八戸線宿戸駅から西へ約5.2kmの和座川右岸の段丘頂部に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ64m~74mの試掘トレンチを4箇所(A、B、C、D)設定した。調査の結果、Bトレンチ北西端から木炭窯跡が1基、それと隣接するようにCトレンチの北西端から古代の竪穴住居跡が1軒検出された。全体の規模を確認する為に15㎡ほど拡張した。検出した木炭窯跡の幅は約1.1mである。竪穴住居跡の規模は約3m×3mである。

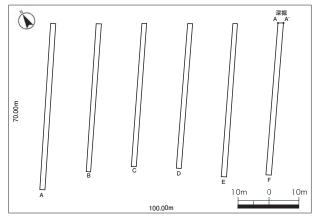
【備 考】新規発見遺跡(南玉川Ⅲ遺跡)

種別:集落跡

時代:奈良・平安時代

風力発電第20号機





【所在地】洋野町種市第8地割字南戸類家75番2

【現 況】山林

【標 高】約 166m ~ 172m

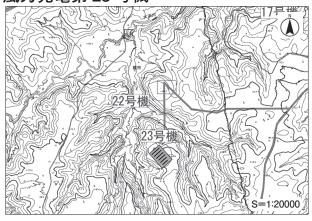
【調査期間】 令和元年7月17日~7月29日

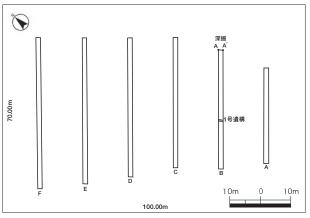
【対象面積】 7,000㎡ (100m × 70m)

【調査面積】 459㎡

【調査概要】調査地点は、JR八戸線陸中八木駅から 西方へ約5kmの小山川と土釜川に挟まれた段丘頂部 に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ47m~54m の試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F) 設定した。調査の結果、遺物・遺構は確認されな かった。

風力発電第23号機





【所在地】洋野町種市第3地割字小田沢81番

【現 況】山林

【標 高】約 170m ~ 180m

【調査期間】 令和元年8月2日~8月5日

【対象面積】 7,000㎡ (100m × 70m)

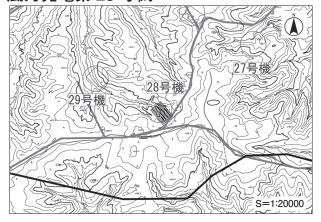
【調査面積】 386㎡

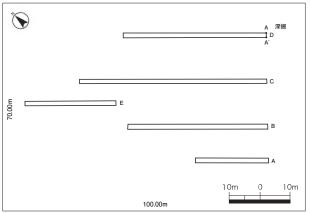
【調査概要】調査地点は、JR八戸線陸中八木駅から 西方へ約4.5kmの大浜川右岸の段丘頂部に位置する。 調査地内に幅1.5m、長さ31m~50mの試掘トレ ンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。B トレンチから溝状土坑と思われる遺構が1基検出さ れた。遺物は確認されなかった。

【備 考】新規発見遺跡 (小田ノ沢Ⅱ遺跡)

種別:狩猟場跡時代:縄文時代

風力発電第28号機





【所在地】洋野町種市第10地割字西戸類家 123番1、2

【現 況】山林

【標 高】約 200m ~ 210m

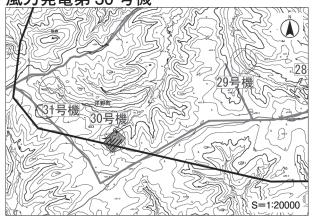
【調査期間】 令和元年7月31日~8月8日

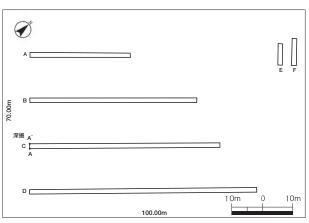
【対象面積】 7,000㎡ (100m × 70m)

【調査面積】 314㎡

【調査概要】調査地点は、JR 八戸線陸中八木駅から 西方へ約 7kmの大浜川支流左岸の段丘頂部に位置す る。調査地内に幅 1.5m、長さ 24m ~ 62m の試掘ト レンチを 5 箇所(A、B、C、D、E)設定した。 遺物・遺構は確認されなかった。

風力発電第30号機





【所在地】洋野町種市第10地割字西戸類家123番1

【現 況】山林

【標 高】約 207m ~ 217m

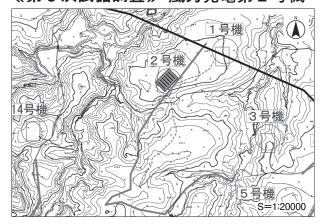
【調査期間】令和元年7月26日~8月1日

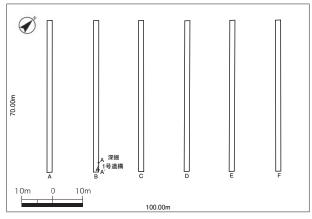
【対象面積】 7,000㎡ (100m × 70m)

【調査面積】 363㎡

【調査概要】調査地点は、JR八戸線陸中八木駅から 西方へ約8.3kmの濁川左岸の段丘頂部付近に位置す る。調査地内に幅1.5m、長さ7m~75mの試掘ト レンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。 遺物・遺構は確認されなかった。

≪第3次試掘調査≫ 風力発電第2号機





【所在地】洋野町種市第14地割字北玉川98番1

【現 況】山林

【標 高】104m~110m

【調査期間】 令和元年 11 月 26 日~ 11 月 29 日

【対象面積】 7,000㎡ (100m × 70m)

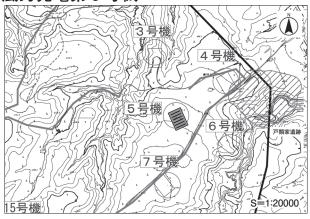
【調査面積】 450㎡

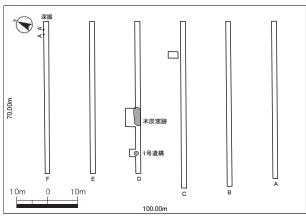
【調査概要】調査地点は、JR 八戸線玉川駅から西方へ約 1.8kmの和座川右岸の段丘頂部に位置する。調査地内に幅 1.5m、長さ 50m の試掘トレンチを 6 箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。Bトレンチ南端(深掘地点)から溝状土坑が1基検出された。遺物は確認されなかった。

【備 考】新規発見遺跡(北玉川Ⅱ遺跡)

種別:狩猟場跡時代:縄文時代

風力発電第5号機





【所在地】洋野町種市第11地割字南玉川99番1、2、3

【現 況】山林

【標 高】110m~118m

【調査期間】 令和元年 11 月 20 日~ 11 月 25 日

【対象面積】 7,000㎡ (100m × 70m)

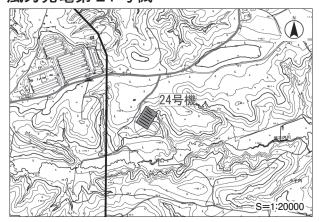
【調査面積】 468㎡ +30㎡ (拡張部分) = 498㎡

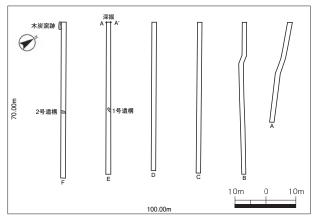
【調査概要】調査地点は、JR八戸線玉川駅から南西へ約1.3kmの小山川左岸の段丘頂部に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ50m~55mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。Dトレンチから円形状の遺構が1基と近・現代のものと思われる木炭窯跡が1基検出された。また、縄文時代の遺構の可能性がある痕跡がみられ、一部拡張するなどサブトレンチを設けて確認したが、全て樹木痕と判明した。遺物は確認されなかった。

【備 考】新規発見遺跡(南玉川Ⅳ遺跡)

種別:散布地時代:縄文時代

風力発電第24号機





【所在地】洋野町小子内第7地割字長坂60番3

【現 況】山林

【標 高】177m~192m

【調査期間】 令和元年 11 月 15 日~ 11 月 20 日

【対象面積】 7,000㎡(100m × 70m)

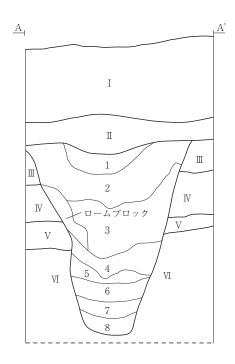
【調査面積】 434㎡

【調査概要】調査地点は、JR八戸線有家駅から西へ約5.1kmの原子内川支流左岸の段丘端部に位置する。調査地内に幅1.5m、長さ34m~52mの試掘トレンチを6箇所(A、B、C、D、E、F)設定した。E・Fトレンチのほぼ中央付近から溝状土坑と思われる遺構がそれぞれ1基ずつ2基検出された。また。Fトレンチ北西端から近現代のものと思われる木炭窯跡が1基検出された。遺物は確認されなかった。

【備 考】新規発見遺跡(長坂Ⅱ遺跡)

種別:狩猟場跡時代:縄文時代

3 号機



3 号機 (A2トレンチ 西壁)

I 10YR2/1 黒色土 粘性なし 締りなし
II 10YR2/2 黒褐色土 やや粘性あり 締り弱
III 10YR3/3 暗褐色土 やや粘性あり やや締りあり
IV 10YR6/8 明黄褐色土 粘性あり 締りあり
V 5YR5/4 にぶい赤褐色土 粘性あり 締りあり
VI 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性あり 締り強
〈4号遺構〉

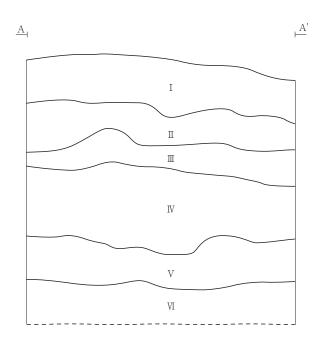
1 10YR2/1 黒色土 粘性なし 締りなし
 2 10YR2/2 黒褐色土 やや粘性あり 締り弱
 3 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり やや締りあり

3 10YR5/3 にぶい寅愒巴土 粘性あり やや締りあり 4 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性あり 締り弱

5 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締り弱

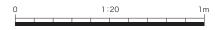
6 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締り強 7 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性あり 締り強 8 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締り強

7号機



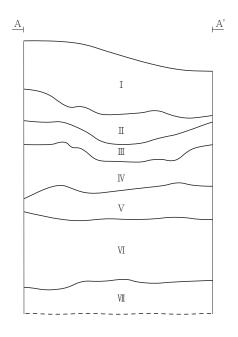
7号機(Eトレンチ 北東壁)

I 10YR2/1 黒色土 粘性なし 締りなし II 10YR2/2 黒褐色土 やや粘性あり 締り弱 III 10YR6/8 明黄褐色土 やや粘性あり 締りあり IV 10YR6/8 明黄褐色土 粘性あり 締り強 V 10YR7/8 黄橙色土 粘性あり 締りあり VI 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性あり 締りあり



第3図 深掘土層序

11 号機



11 号機 (Eトレンチ 北東壁)

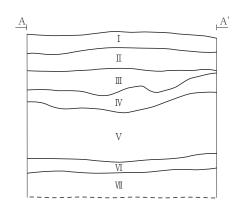
I 10YR3/2 黒褐色土 やや粘性あり 締り弱 Ⅱ 10YR4/2 灰黄褐色土 やや粘性あり 締り弱 Ⅲ 10YR4/2 吹黄褐色土 やや粘性あり 締り弱

Ⅲ 10YR6/8 明黄褐色土 やや粘性あり 締り弱

Ⅳ 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 締り強 非常に堅緻である
 Ⅴ 7.5YR6/3 にぶい褐色土 粘性強 締り強
 Ⅵ 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 締り強

Ⅲ 10YR3/4 暗褐色土 やや粘性あり 締り強 粗い砂質

16 号機



16 号機(D トレンチ 北壁)

I 10YR2/1 黒色土 粘性なし 締り弱 Ⅱ 10YR2/2 黒褐色土 粘性弱 締り弱

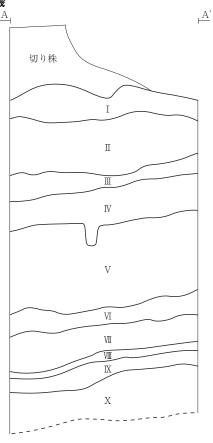
Ⅲ 10YR3/2 黒褐色土 やや粘性あり やや締りあり
 Ⅳ 10YR6/8 明黄褐色土 やや粘性あり 締りあり
 Ⅴ 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性強 締り強
 Ⅵ 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 締り強

WI 7.5YR6/4 にぶい橙色土 粘性強 締り弱



第4図 深掘土層序

17 号機 _<u>A</u>

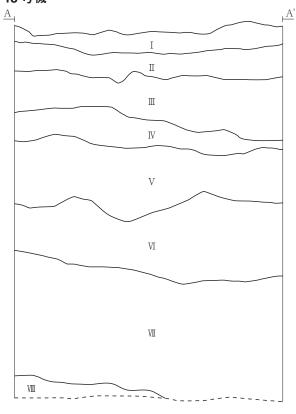


17 号機 (Eトレンチ 東壁)

I 10YR2/1 黒色土 やや粘性あり 締り弱
II 10YR2/1 黒色土 やや粘性あり 締り弱
下位に IV 層の軽石を微量に含む
III 10YR2/1 黒色土 やや粘性あり 締り弱
軽石をや多く含む
IV 10YR2/1 黒色土 やや粘性あり 締りあり
V 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性強 締り強
U 10YR5/6 黄褐色土 粘性強 締り強
2~20mmの軽石を多量に含む
VI 10YR5/6 黄褐色土 粘性強 締り強
I 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 締り強
5~30mmの軽石を多量に含む

IX 10YR5/6 黄褐色土 粘性あり 締り強X 7.5YR6/4 にぶい橙色土 粘性強 締り弱

18 号機

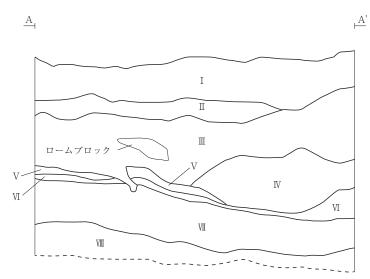


18 号機(A トレンチ 北西壁)

Ⅱ 10YR3/1 黒褐色土 やや粘性あり 締り弱 Ⅲ 10YR4/2 灰黄褐色土 やや粘性あり 締り弱 Ⅲ 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり やや締りあり Ⅳ 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 締りあり Ⅵ 7.5YR6/4 にぶい橙色土 粘性強 締りあり Ⅵ 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 締りあり Ⅶ 10YR6/6 明黄褐色土 粘性強 締りあり Ⅲ 5YR4/6 赤褐色土 粘性あり 締りあり



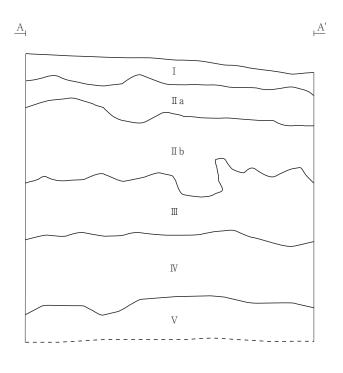
第5図 深掘土層序



20 号機 (Fトレンチ 北東壁)

- I 10YR2/1 黒色土 粘性弱 締り弱 Ⅱ 10YR3/2 黒褐色土 やや粘性あり 締り弱 Ⅲ 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり やや締りあり
- IV 10YR6/6 明黄褐色土 やや粘性あり 締りあり V 2.5Y6/6 明黄褐色土 やや粘性あり 締りあり VI 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 締りあり
- Ⅶ 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 締りあり 粘土質
- ™ 7.5YR6/4 にぶい橙色土 粘性強 締り強

23 号機

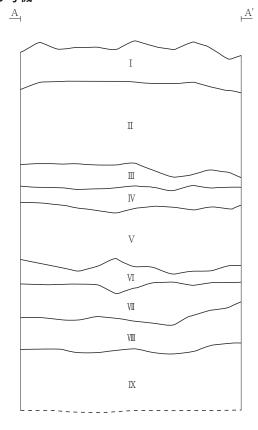


23 号機 (Bトレンチ 北東壁)

I 10YR2/1 黒色土 粘性弱 締り弱 Ⅱa 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性弱 締りあり Ⅱb 10YR3/1 黒褐色土 粘性弱 締りあり Ⅲ 10YR6/6 明黄褐色土 やや粘性あり 締り強 IV 7.5YR6/4 にぶい橙色土 粘性なし 締り強 V 7.5YR6/4 にぶい橙色土 粘性強 締りあり



第6図 深掘土層序



30 号機 (Cトレンチ 南壁)

I 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 締りなし

Ⅲb 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締りあり
Ⅳ 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり しまり強
Ⅴ 10YR5/6 黄褐色土 やや粘性あり 締り強
Ⅵ 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性強 締り強
Ⅶ 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締りあり
Ⅲ 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締り弱

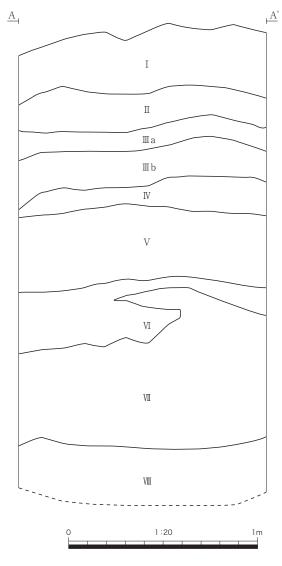
II 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締り弱III 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし やや締りあり

28 号機 (Dトレンチ 南壁)

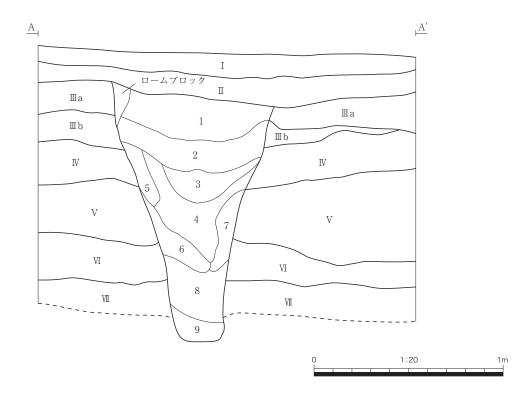
I 10YR2/1 黒色土 粘性弱 締り弱 II 10YR1.7/1 黒色土 やや粘性あり 締りあり II 7.5YR6/8 橙色土 やや粘性あり 締り強 IV 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締りあり V 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締りあり VI 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 締りあり VI 10YR6/6 明黄褐色土 粘性なし 締り強 VII 10YR6/8 明黄褐色土 粘性あり 締り強

IX 10YR8/2 灰白色土 粘性あり 締り弱

30 号機



第7図 深掘土層序



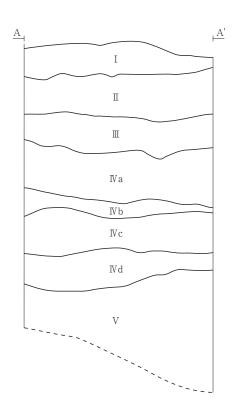
2 号機(B トレンチ)

- I 10YR2/2 黒褐色土 粘性弱 締りなし
- Ⅱ 10YR3/2 黒褐色土 粘性弱 締り弱
- Ⅲa 10YR3/3 暗褐色土 粘性弱 やや締りあり 0.1~1cm 大のローム粒を少量含む
- Ⅲb 10YR3/3 暗褐色土 粘性弱 やや締りあり
 - ローム粒とロームブロックを多く含む
- IV 2.5Y6/8 明黄褐色土 粘性あり 締り強
- V 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性強 締りあり
- VI 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性あり 締りあり
- WI 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性強 締り強

〈1号遺構〉

- 1 10YR3/1 黒褐色土 やや粘性あり 締り弱 2 10YR3/1 黒褐色土 やや粘性あり 締りあり
- 3 10YR2/1 黒色土 粘性あり 締りあり
- 4 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締り弱
- 5 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締りなし
- 6 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締りなし
- 7 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締りなし
- 8 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり 締り弱
- 9 10YR1.7/1 黒色土 粘性あり 締りなし

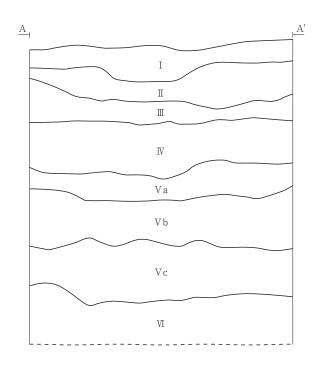
第8図 深掘土層序



5 号機 (F トレンチ 北壁)

I 10YR2/1 黒色土 粘性弱 締りなし Ⅱ 10YR3/2 黒褐色土 やや粘性あり 締り弱 Ⅲ 10YR3/3 暗褐色土 やや粘性あり 締り弱 Ⅳ 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 締りあり Ⅳ 2.5Y6/6 明黄褐色土 粘性あり 締り強 Ⅳ 2.5Y6/6 明黄褐色土 粘性あり 締り強 Ⅳ 2.5Y6/6 明黄褐色土 粘性強 締り強 Ⅵ 7.5YR6/4 にぶい橙色土 粘性強 締り強

24 号機



24 号機 (Eトレンチ 北西壁)

I 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 締りなし 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締り弱 III 10YR3/4 暗褐色土 粘性弱 締り弱 IV 10YR4/2 灰黄褐色土 やや粘性あり 締りあり Va 10YR5/6 黄褐色土 やや粘性あり 締りあり Vb 10YR5/8 黄褐色土 粘性あり 締り強 Vc 10YR6/8 明黄褐色土 粘性あり 締り強 IV 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性あり 締り弱



第9図 深掘土層序

V. 試掘調査のまとめ

風力発電所建設予定地 13 箇所の試掘調査結果を第2表にまとめた。9 箇所で遺構が確認され、新規発見遺跡として登録された。その内訳は縄文時代が8 箇所、古代(奈良・平安)が1 箇所である。

縄文時代の遺跡では、6箇所で溝状土坑が検出され、いずれも狩猟場跡としての登録であるが、3号機建設予定地(南玉川 II 遺跡)では遺構が多数発見され、中には竪穴住居跡と考えられるものがあり、遺物の出土量も多いことから、集落跡の可能性がある。

古代の遺跡では、18号機建設予定地(南玉川Ⅲ遺跡)で、竪穴住居跡が1軒とそれに隣接して木炭窯跡が1 基検出された。古代の遺跡の登録が少ない洋野町では貴重な発見となった。

木炭窯跡は、11 号機建設予定地(西戸類家 I 遺跡)、17 号機建設予定地(遺跡該当なし)、24 号機建設予定地 (長坂 II 遺跡)でも発見されているが、近・現代のものである。

<参考文献>

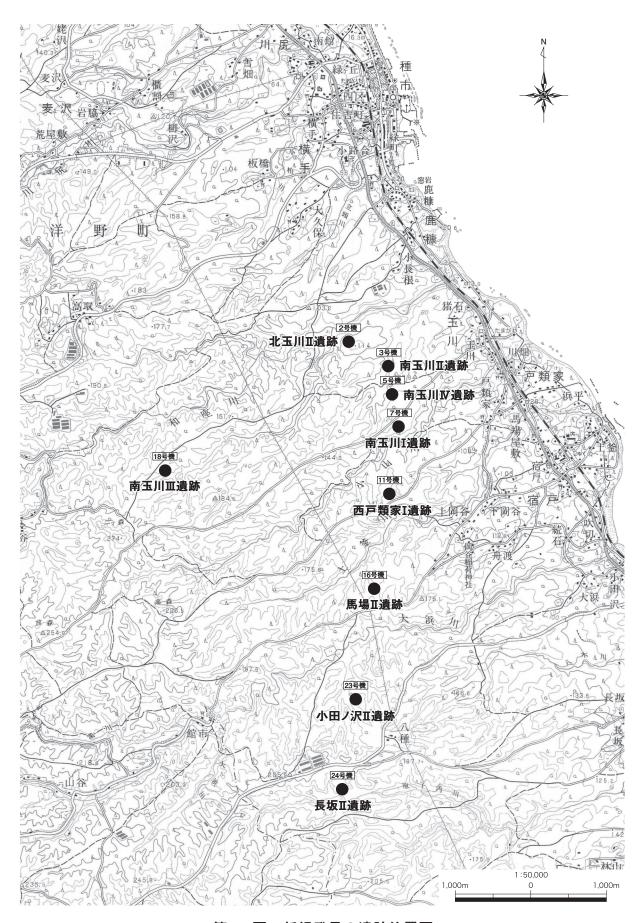
岩手県洋野町教育委員会 2013 『平内Ⅱ遺跡発掘調香報告書』 洋野町埋蔵文化財調香報告書第1集

岩手県洋野町教育委員会 2015 『平内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』 洋野町埋蔵文化財調査報告書第2集

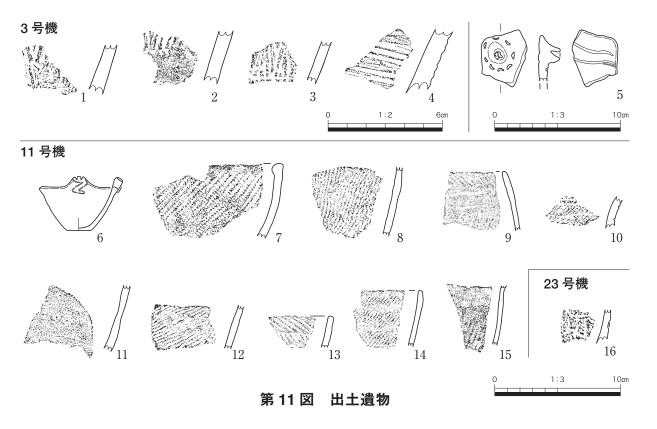
岩手県洋野町教育委員会 2020 『南玉川 I 遺跡・小田ノ沢 II 遺跡発掘調査報告書』 洋野町埋蔵文化財調査報告書第7集

風車No.	試掘調査結果 (遺跡名)	トレンチの 数量	追加トレンチ の数量	サブトレンチ の数量	検出遺構	出土遺物	土器 数量	石器· 礫数量	備考
2号機	新規発見遺跡 (北玉川Ⅱ遺跡)	6	0	0	溝状土坑 1	_	_	_	第3次調査
3号機	新規発見遺跡 (南玉川Ⅱ遺跡)	11	0	0	溝状土坑 3 (4·14·15 号遺構) 土坑 (円形) 10 (3·5·6·7·8·9· 10·11·12·13 号遺構) 土坑 (柱穴状) 2 (1·2号遺構) 不明遺構 3 (16·17·18 号遺構)	縄文土器 石器 弥生土器	546	110	第1次調査
5 号機	新規発見遺跡 (南玉川Ⅳ遺跡)	6	0	3	土坑(円形)1 木炭窯跡(近・現代)	_	_	_	第3次調査
7号機	新規発見遺跡 (南玉川 I 遺跡)	6	5	0	溝状土坑 2 (1·6号遺構) 土坑 (円形) 1 (2号遺構) 不明遺構 3 (3·4·5号遺構)	_	_		第1次調査
11 号機	新規発見遺跡 (西戸類家 I 遺跡)	6	1	0	土坑 1 (1 号遺構) 木炭窯跡 (現代)	縄文土器 弥生土器	79	1	第1次調査
16 号機	新規発見遺跡 (馬場Ⅱ遺跡)	6	5	1	溝状土坑 8 (3·5·6·7·8·9· 10·11 号遺構) 土坑 3 (1·2·4号遺構) 不明遺構 3 (12·13·14号遺構)	_	_	_	第1次調査
17 号機	_	6	2	0	木炭窯跡(近・現代)	_	_	_	第1次調査 崩落礫出土
18 号機	新規発見遺跡 (南玉川Ⅲ遺跡)	4	0	1	竪穴住居跡 1 木炭窯跡 1	土師器	8	1	第2次調査
20 号機	_	6	0	0	_	_	_	_	第2次調査
23 号機	新規発見遺跡 (小田ノ沢Ⅱ遺跡)	6	0	0	溝状土坑 1	_	_	_	第2次調査
24 号機	新規発見遺跡 (長坂Ⅱ遺跡)	6	0	0	溝状土坑 2 木炭窯跡 (近・現代)	_	_	_	第3次調査
28 号機	_	5	0	0	_	_	_	_	第2次調査
30 号機	_	6	0	0		_	_	_	第2次調査

第2表 試掘調査結果一覧



第10図 新規発見の遺跡位置図



3 号機

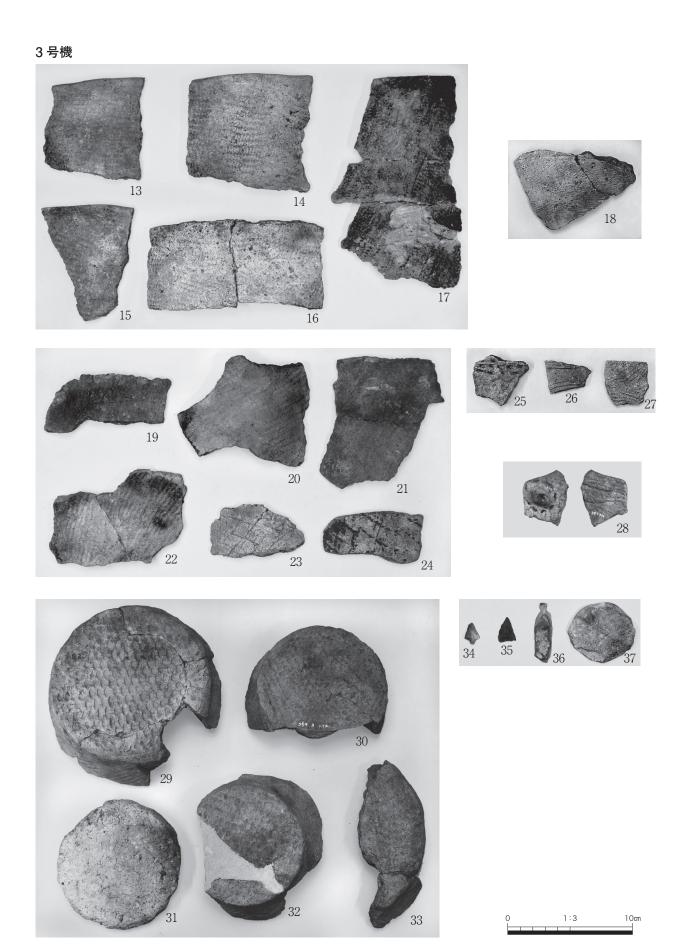








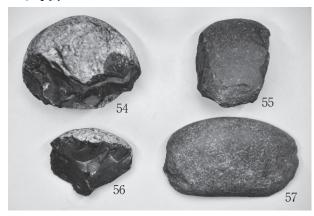
写真図版 1 出土遺物

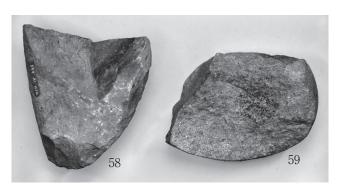


写真図版 2 出土遺物



写真図版 3 出土遺物



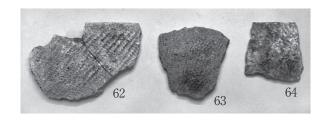


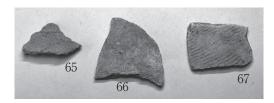


0 1:3 10cm

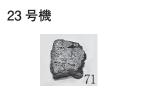
11 号機













写真図版 4 出土遺物

						計測値	(mm) [1推定値	
No.	図番号	写真図版番号	出土地点	トレンチ名	器種・部位	口径	器高	底径	備考
1	第11図-1	写真図版 1-1	3号機	A2	深鉢・胴部		- 1111111	- EXIE	縄文時代、押型文
2	第11 図 -2	写真図版 1-2	3号機	B	深鉢・胴部	_	_	_	縄文時代、押型文
3	第11 図 -3	写真図版 1-3	3号機	В	深鉢・胴部	_	_	_	縄文時代、押型文
4	第11図4	写真図版 1-4	3号機	В	深鉢·胴部		_		縄文時代、貝殻文
5	7/11 24 -1	写真図版 1-5	3号機	В	深鉢・口縁部	_	_	_	縄文時代
6	_	写真図版 1-6	3号機	В	深鉢·胴部	_	_	_	縄文時代
7		写真図版 1-7	3号機	В	深鉢・胴部		_	_	縄文時代
8	-	写真図版 1-8	3号機	В	深鉢・胴部	_	_	_	縄文時代
9	_	写真図版 1-9	3号機	В	深鉢·胴部	_	_	_	縄文時代
10	_	写真図版 1-10	3号機	В	深鉢·胴部		_	_	縄文時代
11		写真図版 1-11	3号機	В	深鉢・口縁部	_	_	_	縄文時代
12	-	写真図版 1-12	3号機	В	深鉢・胴部	_	_	_	縄文時代
13	-	写真図版 2-13	3号機	В	深鉢・口縁部			_	縄文時代
14	-	写真図版 2-14	3号機	В	深鉢・口縁部	_	_	_	縄文時代
15	-	写真図版 2-15	3号機	В	深鉢・口縁部	_	_	_	縄文時代
16	-	写真図版 2-16	3号機	В	深鉢・胴部				縄文時代
17	-	写真図版 2-17	3 号機	В	深鉢・口縁部	_		_	縄文時代
18	-	写真図版 2-17 写真図版 2-18	3号機	В	深鉢・胴部				- 弥生時代
19	-	写真図版 2-18	3号機	В	深鉢・胴部				縄文時代
20	-	写真図版 2-19	3 号機	В	深鉢・胴部 深鉢・胴部				種文時代
21	-	写真図版 2-20 写真図版 2-21	3 号機	В	深鉢・胴部				縄文時代
22		写真図版 2-21 写真図版 2-22	3号機	В	深鉢・胴部 深鉢・胴部				縄文時代
23	-	写真図版 2-23 写真図版 2-23	3 号機	В	深鉢・胴部				縄文時代
24	-	写真図版 2-23 写真図版 2-24	3 号機	В	株野・胴部				縄文時代
25	-	写真図版 2-24 写真図版 2-25	3号機	A2	深鉢・頭部 深鉢・頸部				称生時代
26	-	写真図版 2-26 写真図版 2-26	3号機	B B	深鉢・頸部				弥生時代
27	-	写真図版 2-26 写真図版 2-27	3号機	В					弥生時代
28	第11図-5	写真図版 2-28	3号機	В	体垫 口疹巾				縄文時代、土器口縁部或いは土偶の肩部
29		写真図版 2-28 写真図版 2-29	3号機	В	深鉢・底部			116	種文時代、工器口縁部以いは工協の肩部 縄文時代、網代痕
30	-	写真図版 2-29 写真図版 2-30	3号機	В				97	縄文時代、網代痕 縄文時代、網代痕
31		写真図版 2-30 写真図版 2-31	3号機	D2				93	縄文時代
32	-	与具図版 2-31 写真図版 2-32	3 万候 3 号機	B B	深鉢·底部			93 87	稚文時代 縄文時代、網代痕
	-	写真図版 2-32 写真図版 2-33	3 亏機 3 号機	В	深鉢·底部		_		種又時代、網代狼
33	第11図-6	写真図版 2-33 写真図版 4-61	3 亏機 11 号機	G B	深野・広部	_	40	[130]	種又時代、網代限 縄文時代、ミニチュア土器
	第11 図 -6	写真図版 4-61 写真図版 4-62	11 亏機	G	小型鉢・哈元		40	[19]	種文時代、ミーテュ/工部 縄文時代
35				F			_	_	種又時代
36	第11図-8	写真図版 4-63	11 号機	_	深鉢・胴部 深鉢・口縁部				縄又時代 弥生時代、口唇部に縄文
37	第11図-9	写真図版 4-64	11 号機	E	深鉢・胴部			_	
38	第11図-10	写真図版 4-65		E					弥生時代
39	第11図-11	写真図版 4-66	11 号機	E	深鉢・胴部	_	_		弥生時代
40	第11図-12	写真図版 4-67	11 号機	E	深鉢・胴部	_		_	弥生時代
41	第11図-13	写真図版 4-68	11 号機	E	深鉢・口縁部	_	_	_	弥生時代、口唇部に縄文
42	第11図-14	写真図版 4-69	11 号機	F	深鉢・口縁部		_	_	弥生時代
43	第11図-15	写真図版 4-70	11 号機	G	深鉢・頸部		_	_	弥生時代 郷本財化 翌本以外際校園 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
44	第 11 図 -16	写真図版 4-71	23 号機	D	深鉢・胴部	_	_	_	縄文時代、調査地外隣接地より表採

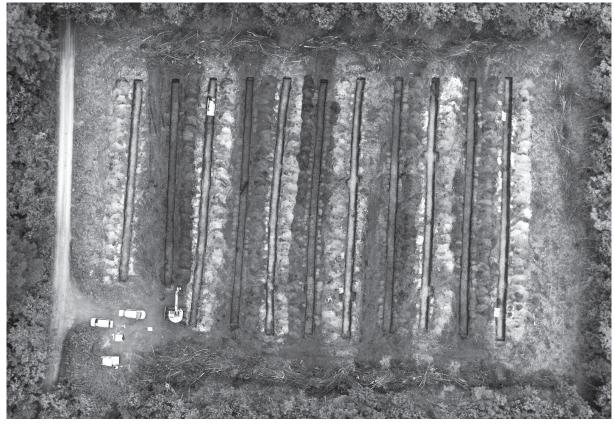
第3表 出土遺物観察表(土器)

M	No. 写真図版番号 出土地点		出土地点 トレンチ名 遺		遺物名 計測値 (mm)			委旦 / ∖	→ 所	備考	
No.	与 具凶似	田工地点	トレンテ石	退物名	長さ	幅	厚さ	重量 (g)	石質	加考	
1	写真図版 2-34	3号機	В	石鏃	16	11	2.5	0.5	チャート	完形、有茎	
2	写真図版 2-35	3号機	В	石鏃	19	13	2.5	0.7	頁岩	完形、無茎	
3	写真図版 2-36	3号機	A2	石匙	47	13	7.5	4.3	チャート	完形、縦型	
4	写真図版 2-37	3号機	В	円盤状石製品	54	48	6.5	21.3	砂岩	完形	
5	写真図版 3-38	3号機	A1	石斧	115	44	25	161.3	粗粒玄武岩	完形	
6	写真図版 3-39	3号機	A2	石斧	125	75	34	336.9	玄武岩	完形	
7	写真図版 3-40	3号機	A1	石斧	116.5	46	32	262.3	粗粒玄武岩	完形	
8	写真図版 3-41	3号機	A1	石斧	100	62	51	494.2	粗粒玄武岩	基部欠損	
9	写真図版 3-42	3号機	В	石斧	75	49	36	202.1	粗粒玄武岩	基部欠損	
10	写真図版 3-43	3号機	В	石斧	72.5	55	40	246.8	粗粒玄武岩	刃部欠損	
11	写真図版 3-44	3号機	В	石斧	82	69	37.5	326.4	粗粒玄武岩	刃部欠損	
12	写真図版 3-45	3号機	C1	礫器	92	64	46	305.9	斑れい岩	欠損	
13	写真図版 3-46	3号機	В	磨石	118	79	54	868.5	花崗閃緑岩	完形	
14	写真図版 3-47	3号機	C1	磨石	119	63	34	416.2	斑れい岩	完形	
15	写真図版 3-48	3号機	В	磨石	104	65.5	36	381.9	斑れい岩	完形	
16	写真図版 3-49	3号機	A1	磨石	106	63	31	347.8	斑れい岩	完形	
17	写真図版 3-50	3号機	В	磨石	84	66.5	49.5	410.3	粗粒玄武岩	完形	
18	写真図版 3-51	3号機	В	磨石	71	64	24	165.9	斑れい岩	完形	
19	写真図版 3-52	3号機	В	磨石	85	56	38	269.3	粗粒玄武岩	完形	
20	写真図版 3-53	3号機	В	敲磨器	90.5	47.5	33	297.4	玄武岩	完形	
21	写真図版 4-54	3号機	D2	敲石	89	69	56	433.4	チャート		
22	写真図版 4-55	3号機	В	敲石	69	55	46	298.6	玄武岩		
23	写真図版 4-56	3号機	В	敲石	66	54	31	116.2	チャート		
24	写真図版 4-57	3号機	A1	敲石	100	62.5	26	310.1	玄武岩		
25	写真図版 4-58	3号機	A1	敲石	100	95	52.5	645.1	玄武岩		
26	写真図版 4-59	3号機	В	凹石	121	86	48	572.6	玄武岩		
27	写真図版 4-60	3号機	A1	石皿	236	157	68	3287.1	凝灰岩		

第4表 出土遺物観察表(石器)



3 号機

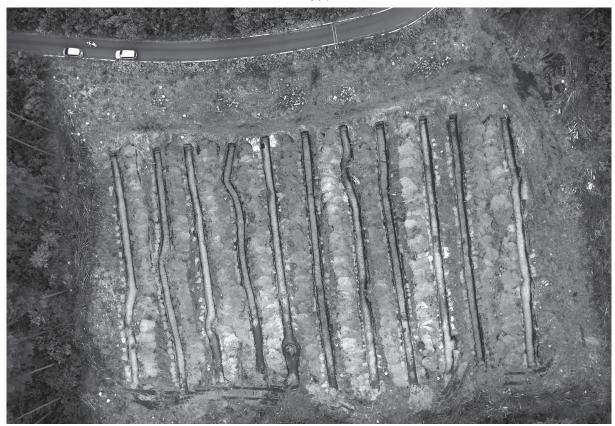


7号機

写真図版 5 第 1 次調査地全景

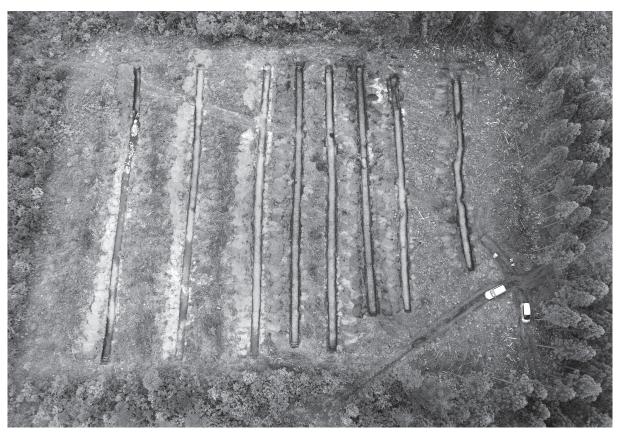


11 号機



16 号機

写真図版 6 第 1 次調査地全景

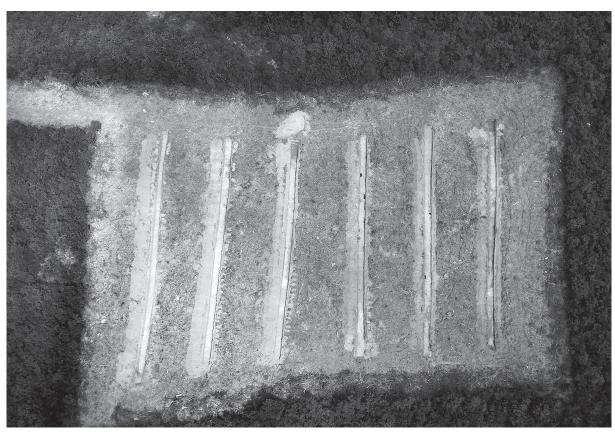


17 号機



18 号機

写真図版 7 第 1 次·第 2 次調査地全景



20 号機



23 号機

写真図版 8 第 2 次調査地全景

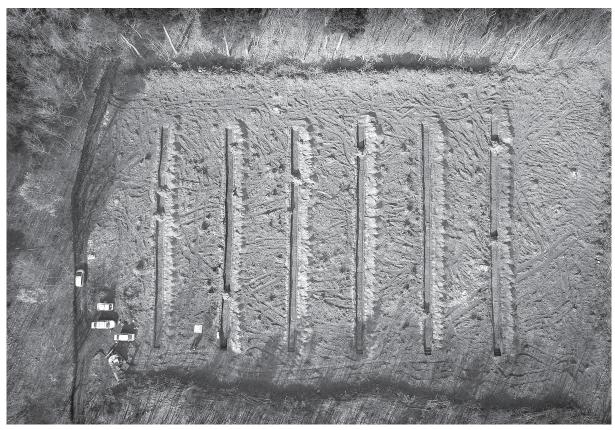


28 号機

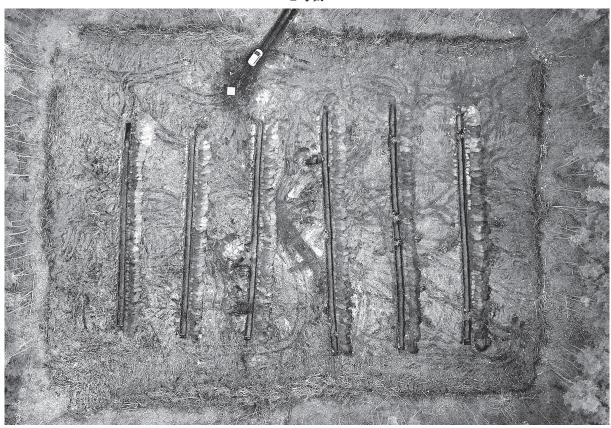


30 号機

写真図版 9 第 2 次調査地全景



2 号機

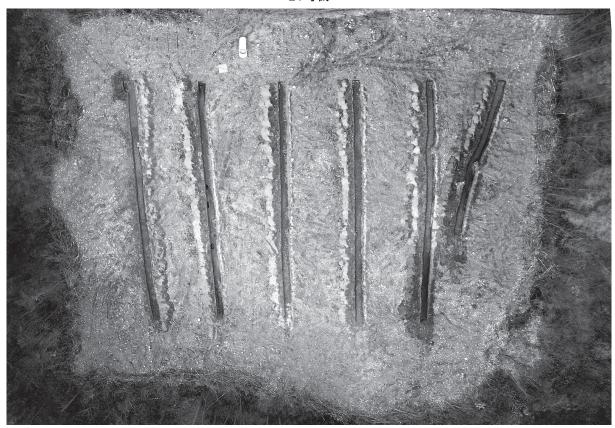


5 号機

写真図版 10 第 3 次調査地全景



24 号機



24 号機

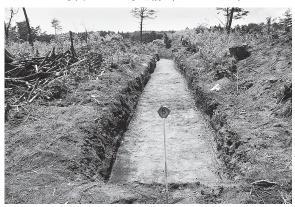
写真図版 11 第 3 次調査地全景



3 号機 調査地近景



3号機 1・2号遺構 (A1トレンチ)



3号機 5・6・7・8号遺構 (Bトレンチ)



3 号機 13 号遺構 (D1トレンチ)



3号機 深掘断面及び4号遺構断面(A2トレンチ西壁)



3号機 3号遺構 (A1トレンチ)

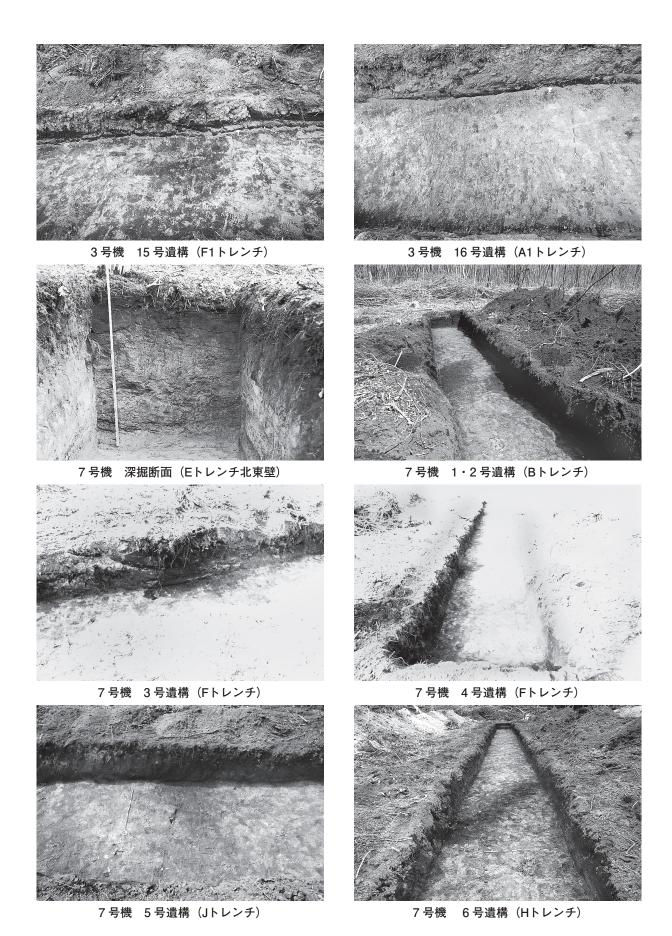


3号機 9・10・11・12号遺構 (C1トレンチ)



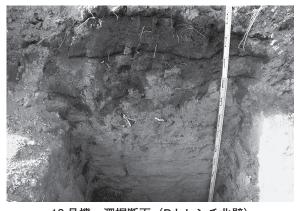
3 号機 14 号遺構(E1トレンチ)

写真図版 12 第 1 次試掘調査



写真図版 13 第 1 次試掘調査





16 号機 深掘断面 (Dトレンチ北壁)



16 号機 2 号遺構 (Bトレンチ)



11 号機 1 号遺構内礫(Gトレンチ)



16 号機 調査地近景

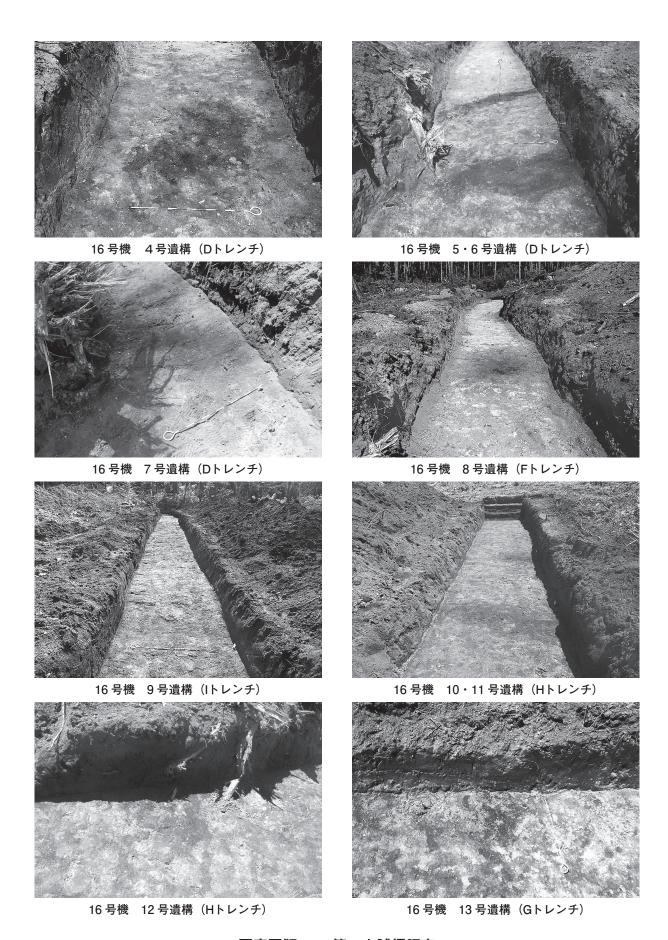


16 号機 1 号遺構 (Bトレンチ)



16 号機 3 号遺構 (Cトレンチ)

写真図版 14 第 1 次試掘調査



写真図版 15 第 1 次試掘調査



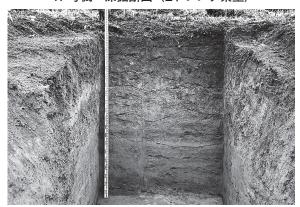
16 号機 14 号遺構(Gトレンチ)



17 号機 調査地遠景



17号機 深掘断面 (Eトレンチ東壁)



18 号機 深掘断面 (Aトレンチ北西壁)



17 号機 崩落礫 (Aトレンチ)



18 号機 調査地近景



18 号機 竪穴住居跡 (Cトレンチ)

写真図版 16 第 1 次·第 2 次試掘調査



18 号機 竪穴住居跡 カマド・煙道付近





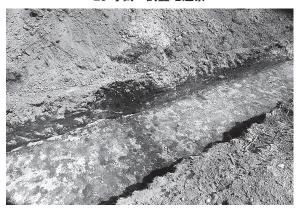
20 号機 深掘断面 (Fトレンチ北東壁)



23 号機 調査地近景



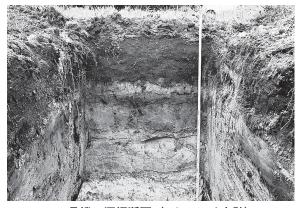
23 号機 深掘断面 (Bトレンチ北東壁)



23 号機 1 号遺構 (Bトレンチ)

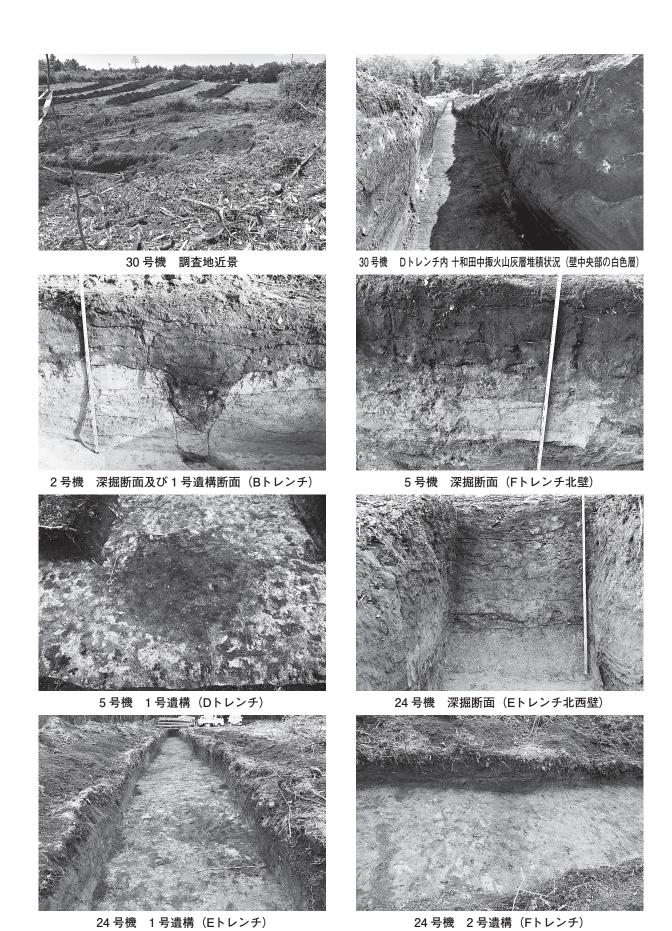


28 号機 調査地近景



28 号機 深掘断面 (Dトレンチ南壁)

写真図版 17 第 2 次試掘調査



写真図版 18 第 2 次·第 3 次試掘調査

報告書抄録

ふりがな	ひろのちょうないしくつちょうさほうこくしょ
書名	洋野町内試掘調査報告書
副書名	風力発電事業に伴う埋蔵文化財確認試掘調査
巻次	
シリーズ名	洋野町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 10 集
編著者名	千田政博 田中寿明
編集機関	洋野町教育委員会 株式会社アーキジオ
所在地	〒 028 - 7914 岩手県九戸郡洋野町種市 23 - 27 TEL 0194 - 65 - 2111
発行年月日	2021年3月5日

> lo 184	> 10 154	コ	- F	北緯	東経			
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	市町村	遺跡番号	۰ , ۱۱	۰, ۱۱	調査期間	調査面積	調査原因
北玉川川遺跡	おきてけれくのこく人のうのきょう 岩手県九戸郡洋野町 ないきない きゃり 種市第 14 地割	03507	IF58-2380	40° 22′ 49″	141° 42′ 51″	20191126 ~ 20191129	450m²	風力発電 事業 (2 号機)
みなみたまがわ に いせき 南 玉 川 Ⅱ 遺跡	いわてけんくのへぐんひろのちょう 岩手県九戸郡洋野町 たねいちだい ちゃり 種市第 11 地割	03507	IF68-0306	40° 22′ 34″	141° 43′ 13″	20190424 ~ 20190510	345m²	風力発電 事業 (3 号機)
みなみたまがわよんいせき 南玉川Ⅳ遺跡	いわてけんくのへぐんひろのちょう 岩手県九戸郡洋野町 たねいちだい ちゃり 種市第 11 地割	03507	IF68-0347	40° 22′ 22″	141° 43′ 17″	20191120 ~ 20191125	498m²	風力発電 事業 (5 号機)
みなみたまがわいちいせき南玉川 遺跡	おなけれくのへくんのろのちょう 岩手県九戸郡洋野町 雑市第 11 地割	03507	IF68-0395	40° 22′ 13″	141° 43′ 15″	20190422 ~ 20190424 20190618 ~ 20190621	804 m²	風力発電 事業 (7号機)
にしへる けいちいせき 西戸類家 I 遺跡	いわてけんくのへぐんひろのちょう 岩手県九戸郡洋野町 たねいちだい ちゃり 種市第 10 地割	03507	IF68-1386	40° 21′ 41″	141° 43′ 12″	20190520 ~ 20190523	476 m²	風力発電 事業 (11 号機)

	, h. 10 h	コ	ード	北緯	東経			
ありがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	市町村	遺跡番号	۰, ۱۱	۰, ۱۱	調査期間	調査面積	調査原因
ばばにいせき 馬場Ⅱ遺跡	出来。 岩手県九戸郡洋野町 経味が、またり 種市第7地割	03507	IF68-2394	40° 21′ 00″	141° 43′ 06″	20190516 ~ 20190520 20190613 ~ 20190614	793m²	風力発電 事業 (16 号機)
みなみたまがわさんいせき 南玉川皿遺跡	いわてけんくのへぐんひろのちょう 岩手県九戸郡洋野町 ないらない ちゃり 種市第 11 地割	03507	IF68-1045	40° 21′ 54″	141° 41′ 02″	20190819 ~ 20190823	432m²	風力発電 事業 (18 号機)
こだのきゃにぃせき 小田ノ沢Ⅱ遺跡	いわてけんくのへぐんひろのちょう 岩手県九戸郡洋野町 たねいちだい ちわり 種市第3地割	03507	IF78-1351	40° 20′ 13″	141° 42′ 52″	20190802 ~ 20190805	386m²	風力発電 事業 (23 号機)
^{ながそかに いせき} 長坂Ⅱ遺跡	いわてけんくのへぐんひろのちょう 岩手県九戸郡洋野町 おこないだい ちゃり 小子内第7地割	03507	IF78-2269	40° 19′ 37″	141° 42′ 44″	20191115 ~ 20191120	434 m²	風力発電 事業 (24 号機)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
北玉川Ⅱ遺跡	狩猟場跡	縄文時代	溝状土坑	_	
南玉川Ⅰ遺跡	狩猟場跡	縄文時代	溝状土坑 土 坑 不明遺構	_	
南玉川Ⅱ遺跡	狩猟場跡 散布地	縄文時代 弥生時代	溝状土坑 土 坑 不明遺構	縄文土器 石 器 弥生土器	遺物多量
南玉川Ⅲ遺跡	集落跡	奈良・平安時代	竪穴住居跡 木炭窯跡	土 師 器	
南玉川Ⅳ遺跡	散布地	縄文時代	土 坑	_	
西戸類家Ⅰ遺跡	散布地	縄文時代 弥生時代	土 坑	縄文土器 弥生土器	
馬場Ⅱ遺跡	狩猟場跡	縄文時代	溝状土坑 土 坑 不明遺構	_	
小田ノ沢Ⅱ遺跡	狩猟場跡	縄文時代	溝状土坑	_	
長坂Ⅱ遺跡	狩猟場跡	縄文時代	溝状土坑	_	

洋野町埋蔵文化財調査報告書第10集

洋野町内試掘調査報告書

風力発電事業に伴う埋蔵文化財確認試掘調査 (2019年度調査)

> 印刷 令和 3 年 2 月 25 日 発行 令和 3 年 3 月 5 日

発行 洋野町教育委員会 = 028 - 7914 岩手県九戸郡洋野町種市 23 - 27 TEL (0194) 65 - 2111

印刷 有限会社 九戸印刷 = 028 - 0041 岩手県久慈市長内町 24 - 10 - 13 TEL (0194) 52 - 1113